

令 7 年度 和歌山大学 e-annual report

<ダイジェスト版>

令和 8 年 6 月

目次

1. はじめに	P2
2. 入学時・入学直後の情報	
2-1 入学者選抜の状況	P3
3. 在学中の情報	
3-1 各授業科目における到達目標の達成状況	P5
3-2 各授業科目における到達目標の達成状況（授業科目に関する情報）	P7
3-3 学修時間	P10
3-4 教員一人あたりの学生数	P12
4. 卒業時・卒業後の情報	
4-1 学位の取得状況	P13
4-2 学生の成長実感・満足度	P13
4-3 学位プログラムを通じた資質・能力等の修得状況	P17
4-4 進路の決定状況等の卒業後の状況（就職率や進学率等）	P21
4-5 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年率、中途退学率	P22
4-6 卒業生からの評価	P24
4-7 卒業生に対する評価	P30

1. はじめに

「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」（平成30年11月26日中央教育審議会答申）において、高等教育改革の実現すべき方向性として

・高等教育機関がその多様なミッションに基づき、学修者が「何を学び、身に付けることができるのか」を明確にし、学修の成果を学修者が実感できる教育を行っていること

などが掲げられ、「学修者本位の教育の実現」が謳われています。

和歌山大学においても、本学が有する強みと特色を生かして、「何を学び、身に付けることができたのか」という学修者本位の視点に立ち、学位プログラムについて日常的な点検（モニタリング）を行うとともに、総合的な点検・評価を行い、その結果をもとに教育改善に努めています。

点検・評価を行うためのデータ・情報のうち、学生の学修成果や大学全体の教育成果に関する情報について、『e-annual report』としてホームページで公表しています。公表に当たっては、「入学前・入学直後の情報」「在学中の情報」「卒業時・卒業後の情報」「その他の情報」に分類することで、情報の検索が容易となるよう工夫するとともに、ホームページでは最新データをご確認いただくことができます。当冊子は<ダイジェスト版>として年度毎に事項を抽出してとりまとめたものです。

<和歌山大学ホームページ：e-annual report>

https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/qualityassurance/index.html

2. 入学時・入学直後の情報

2-1 入学者選抜の状況

入学者選抜については、「入学者受入れの方針」を定め、これに則して大学として求める資質・能力を有する者を入学者として適切に選抜しています。

和歌山大学学士課程 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める学生像

高等学校あるいはこれに相当する教育機関等における学習や活動を通して、次の知識・技能、能力、態度を有する人を求める。

(1) 知識・技能

- ・本学での学修に必要な知識・技能を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・課題解決に取り組むための基礎となる思考力・判断力・表現力を有する人

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・多様で広い知的関心を持ち、他者と関わって、主体的に学ぼうとする意欲や態度を有する人
- ・身につけた知識や技能を活用し、課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、各学部・学環の専門教育及び教養教育を学修することができるレベルにまで資質・能力を高めることを期待する。

2. 入学者選抜の基本方針

本学が求める資質・能力を適切に評価するために、各学部・学環の特性を踏まえた選抜方法により実施する。

全学の「入学者受入れの方針」に加え、学部等の学位プログラム毎にも「入学者受入れの方針」を定め、これに則して入学者を選抜しています。

(参考) 各学部の入学者受入れの方針

<https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/admission-policy/index.html>

「入学者受入れの方針」に則した選抜が実施されているかを明らかにするため、入試方法の区分に応じた受験者数、合格者数及び入学者数等を以下に示します。

▶ 受験者数、合格者数、入学者数等について

令和8年度入学者選抜<前期日程>

一般選抜_実績一覧_学部別									
学部・学環	募集人員数	志願者数	志望倍率※1	受験者数	実質倍率※2	合格者数	合格率※3	入学者数	入学率※4
教育学部	70	153	2.2	135	1.9	86	63.7%	82	95.3%
経済学部	170	435	2.6	403	2.4	197	48.9%	175	88.8%
システム工学部	170	373	2.2	342	2.0	197	57.6%	180	91.4%
観光学部	60	176	2.9	152	2.5	63	41.4%	57	90.5%
社会インフォマティクス学環	20	158	7.9	136	6.8	28	20.6%	26	92.9%
合計	490	1,295	2.6	1,168	2.4	571	48.9%	520	91.1%

令和8年度入学者選抜<後期日程>

一般選抜_実績一覧_学部別									
学部・学環	募集人員数	志願者数	志望倍率※1	受験者数	実質倍率※2	合格者数	合格率※3	入学者数	入学率※4
教育学部	20	171	8.6	48	2.4	24	50.0%	17	70.8%
経済学部	80	961	12.0	472	5.9	98	20.8%	78	79.6%
システム工学部	110	677	6.2	276	2.5	158	57.2%	89	56.3%
観光学部	5	92	18.4	92	18.4	7	7.6%	2	28.6%
合計	215	1,901	8.8	888	4.1	287	32.3%	186	64.8%

上表の各数値は、属性に該当する実数を表す。

※1：志望倍率 = 志願者数 / 募集人員数

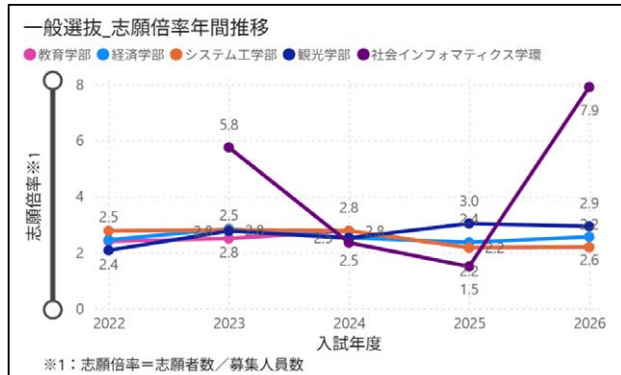
※2：実質倍率 = 受験者数 / 募集人員数

※3：合格率 = 合格者数 / 受験者数 × 100 [%]

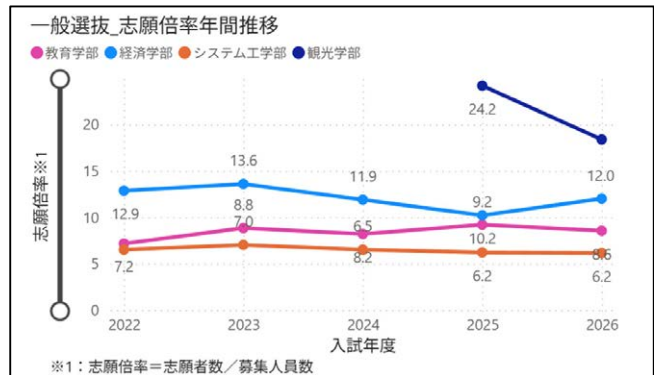
※4：入学率 = 入学者数 / 合格者数 × 100 [%]

<前期日程 志望倍率年間推移>

学部・学環 ● 教育学部 ● 経済学部 ● システム工学部 ● 観光学部 ● 社会インフォマティクス学環

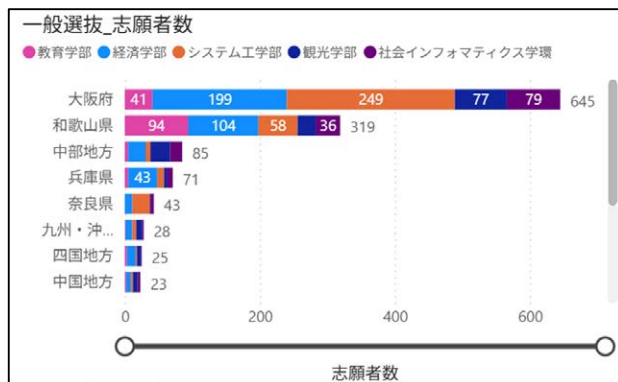


<後期日程 志望倍率年間推移>

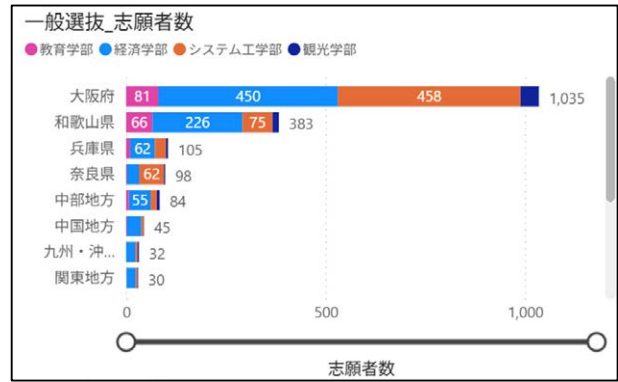


<前期日程 志願者数>

学部・学環 ● 教育学部 ● 経済学部 ● システム工学部 ● 観光学部 ● 社会インフォマティクス学環



<後期日程 志願者数>



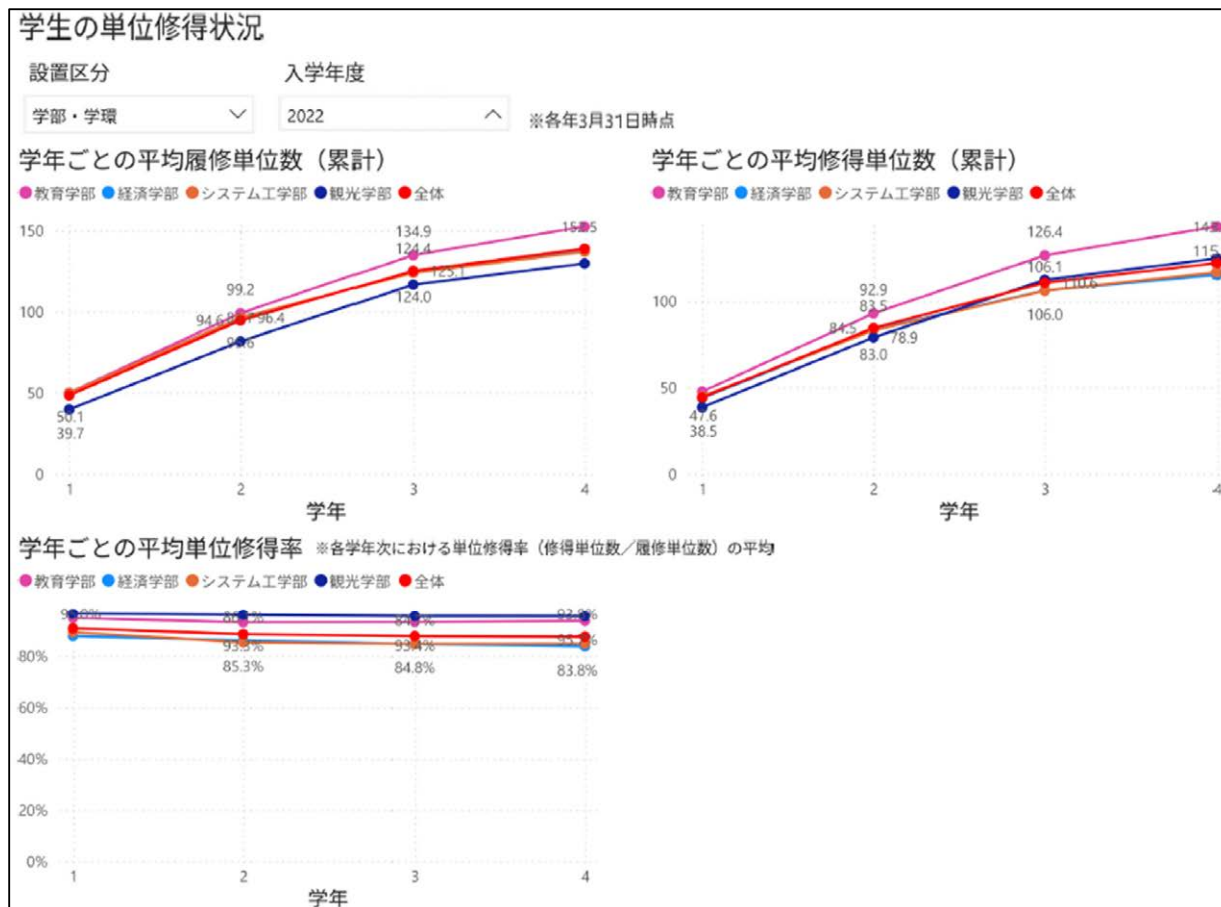
3. 在学中の情報

3-1 各授業科目における到達目標の達成状況

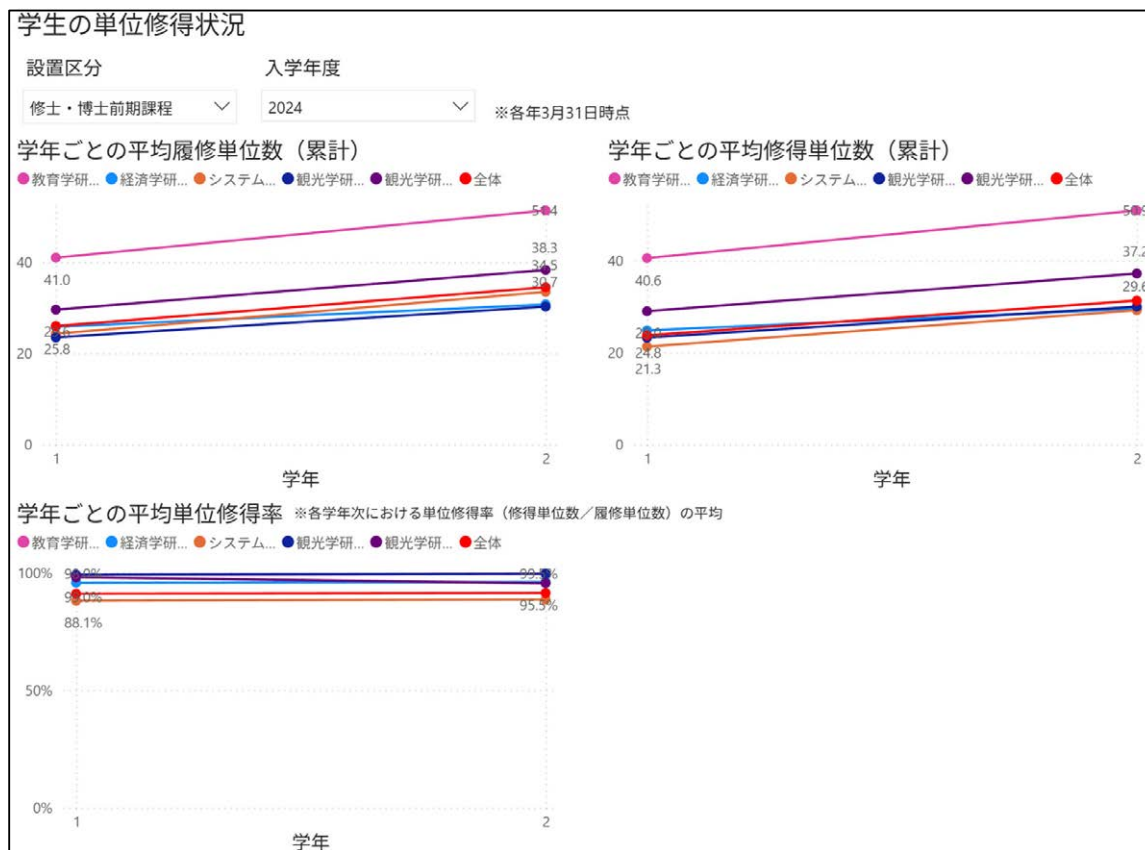
学生が、個々の授業科目の履修の結果として「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力を獲得してゆく過程の全体的な状況を明らかにするため、入学年度別・年度毎の単位修得状況等を以下に示します。

▶ 入学年度別・年度毎の平均履修（修得）単位数について

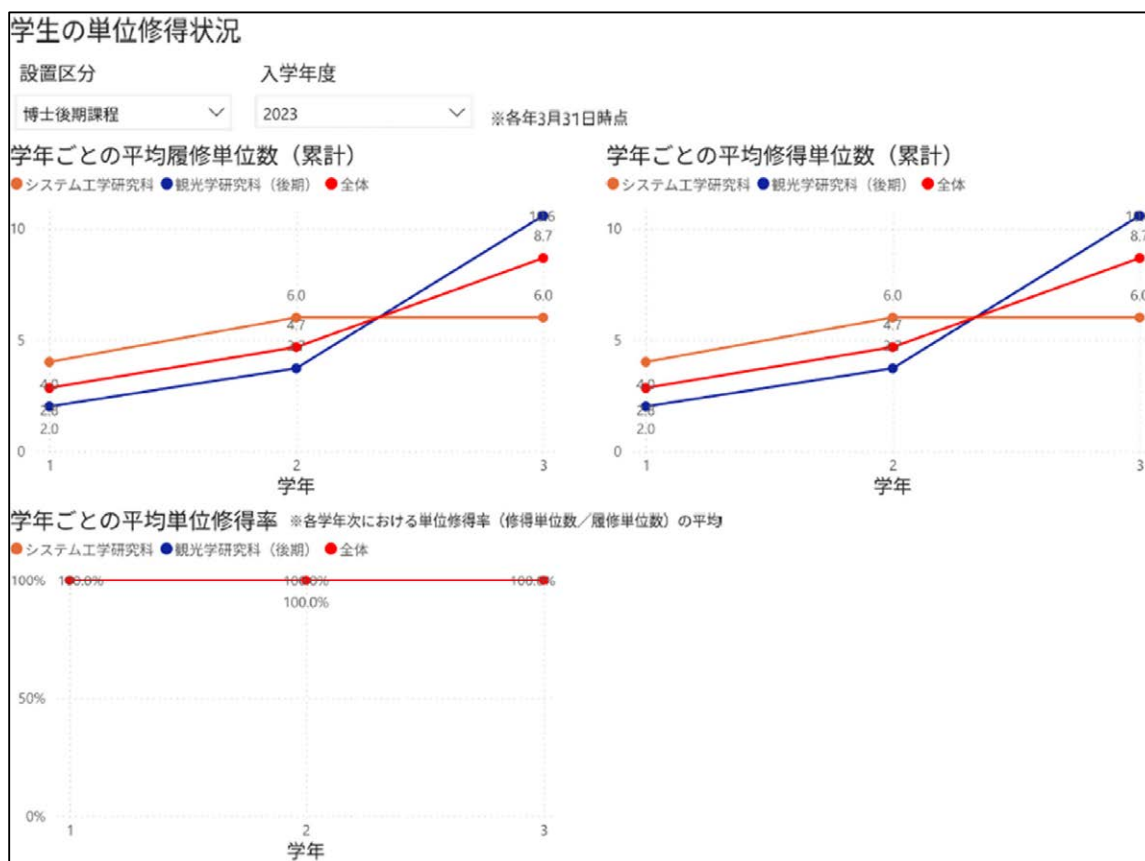
<学部>



< 修士・博士前期課程 >



< 博士後期課程 >



3-2 各授業科目における到達目標の達成状況（授業科目に関する情報）

学生が単位を修得した各授業科目における到達目標の達成状況について、当該科目の到達目標、到達目標と「卒業認定・学位授与の方針」との対応関係、成績評価基準及び成績評価手法などを公表することが望ましいとされています。

本学では、これらの情報をシラバスへ記載し学生へ周知するとともに、各学期の授業評価アンケートで実施状況の確認を行っています。

・シラバスに記載する項目（和歌山大学「シラバス作成のガイドライン」より抜粋）

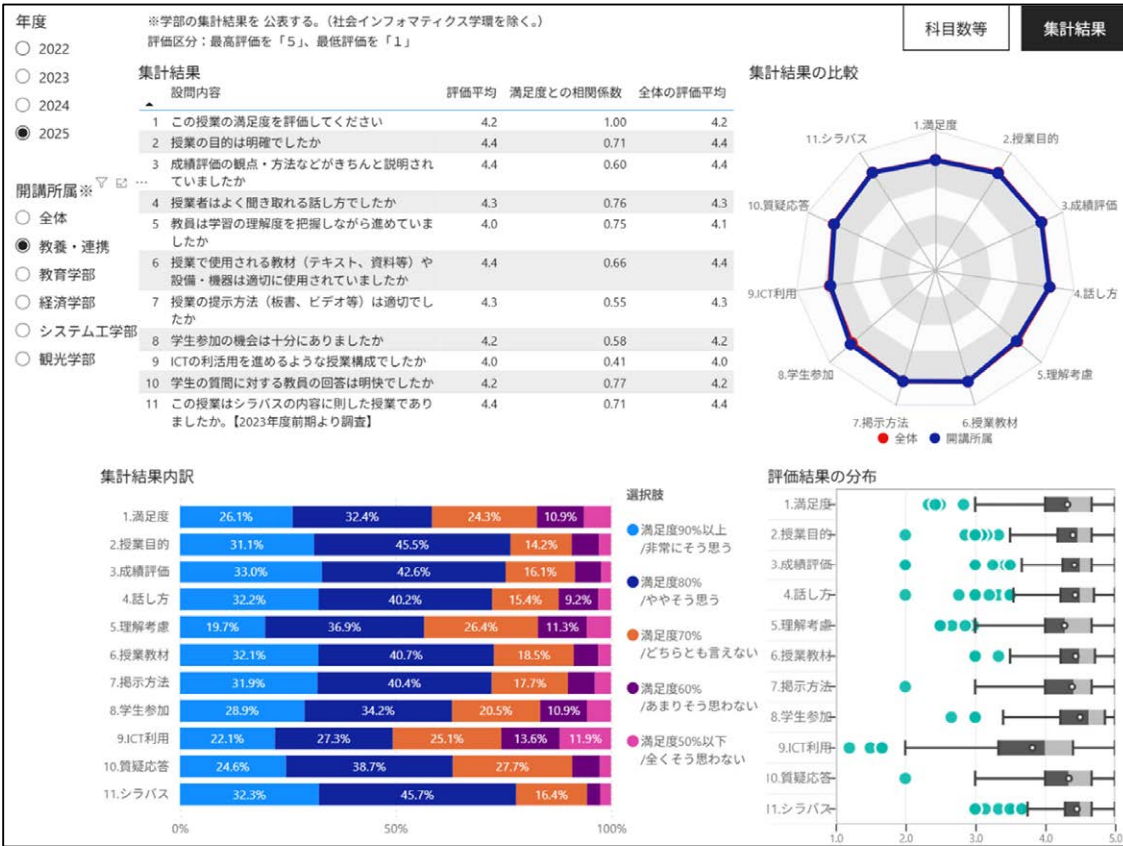
授業概要		授業計画詳細情報
基本情報	詳細情報	
(1)開講科目名	(15)授業の概要・ねらい	(29)回（日時）
(2)時間割コード	(16)到達目標	(30)主題と位置付け
(3)開講所属	(17)成績評価の方法・基準	(31)学習方法と内容
(4)ターム・学期	(18)教科書	(31)備考（担当）
(5)曜限	(19)参考書・参考文献	
(6)開講区分	(20)履修上の注意・メッセージ	
(7)単位数	(21)履修する上で必要な事項	
(8)学年	(22)履修を推奨する関連科目	
(9)主担当教員	(23)授業時間外学修（予習・復習等）の内容	
(10)授業形態	(24)その他連絡事項	
(11)教室	(25)授業理解を深める方法	
(12)開講形態	(26)オフィスアワー	
(13)ディプロマ・ポリシー情報	(27)科目ナンバリング	
(14)担当教員情報	(28)実務経験	

・授業評価アンケート対象科目数及び回答者数について

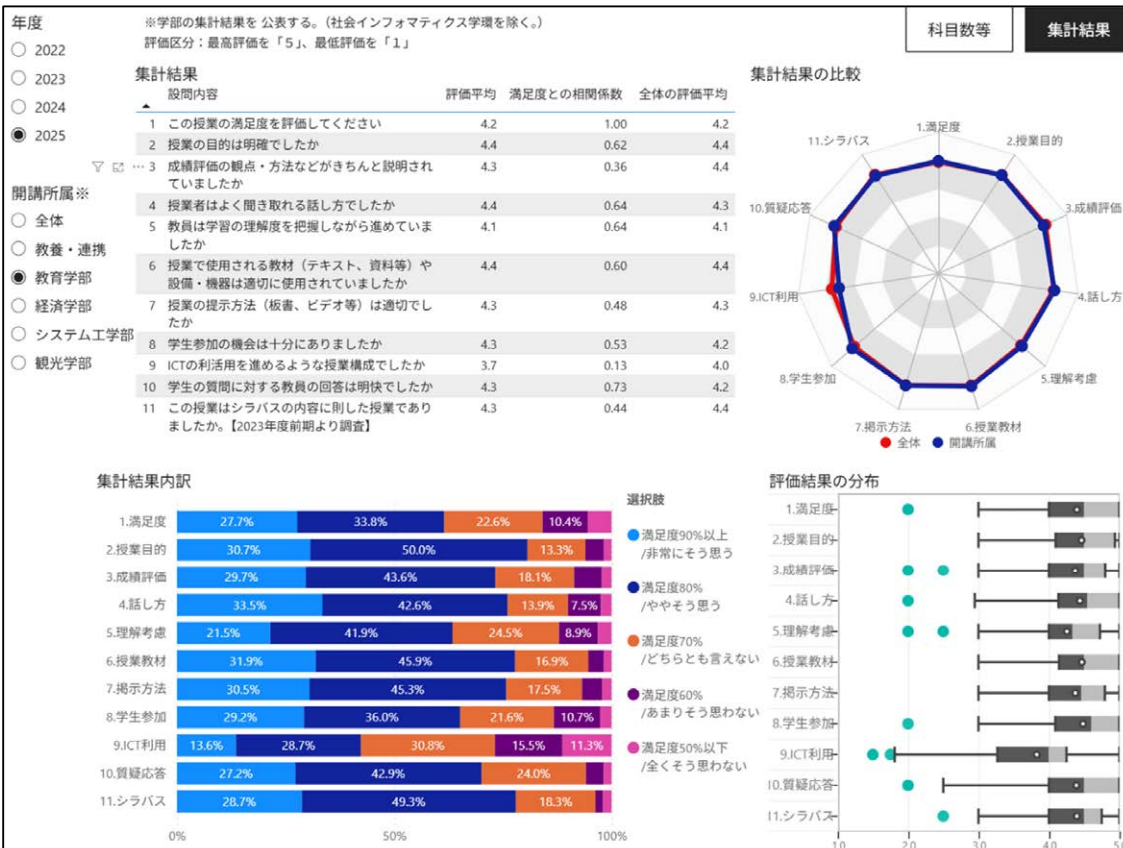
アンケート対象科目数			
開講所属	対象科目数	開講所属	対象科目数
教養・連携	176	教育学研究科	15
教育学部	208	経済学研究科	63
経済学部	150	システム工学研究科_博士前期課程	63
システム工学部	124	観光学研究科_博士前期課程	19
観光学部	60	観光学研究科_専門職課程	19
社会インフォマティクス学環	24	全体（大学院）	179
全体（学部及び学環）	742		

延べ回答数 学生所属別			
学生所属	延べ回答数	学生所属	延べ回答数
教育学部	2,338	教育学研究科	125
経済学部	1,606	経済学研究科	197
システム工学部	3,396	システム工学研究科_博士前期課程	143
観光学部	840	観光学研究科_博士前期課程	23
社会インフォマティクス学環	267	観光学研究科_専門職課程	51
全体（学部及び学環）	8,447	全体（大学院）	539

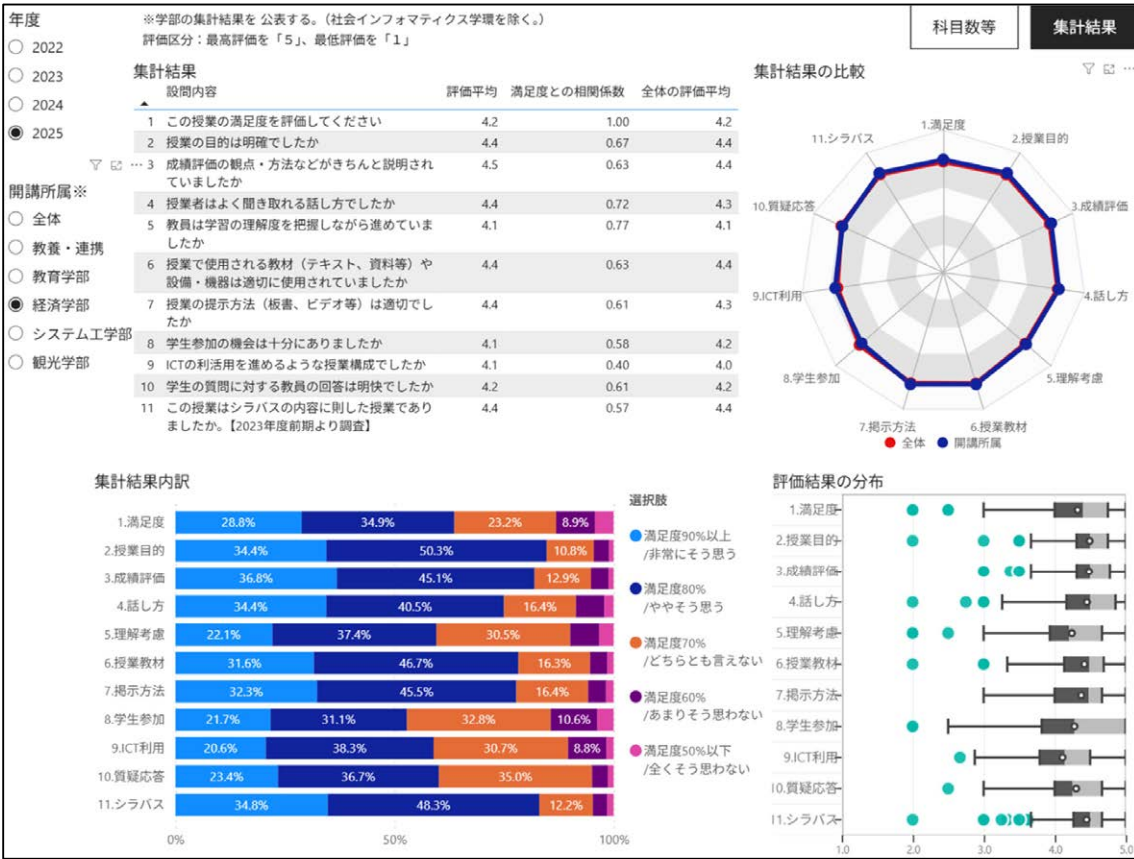
・教養教育科目・連携展開科目



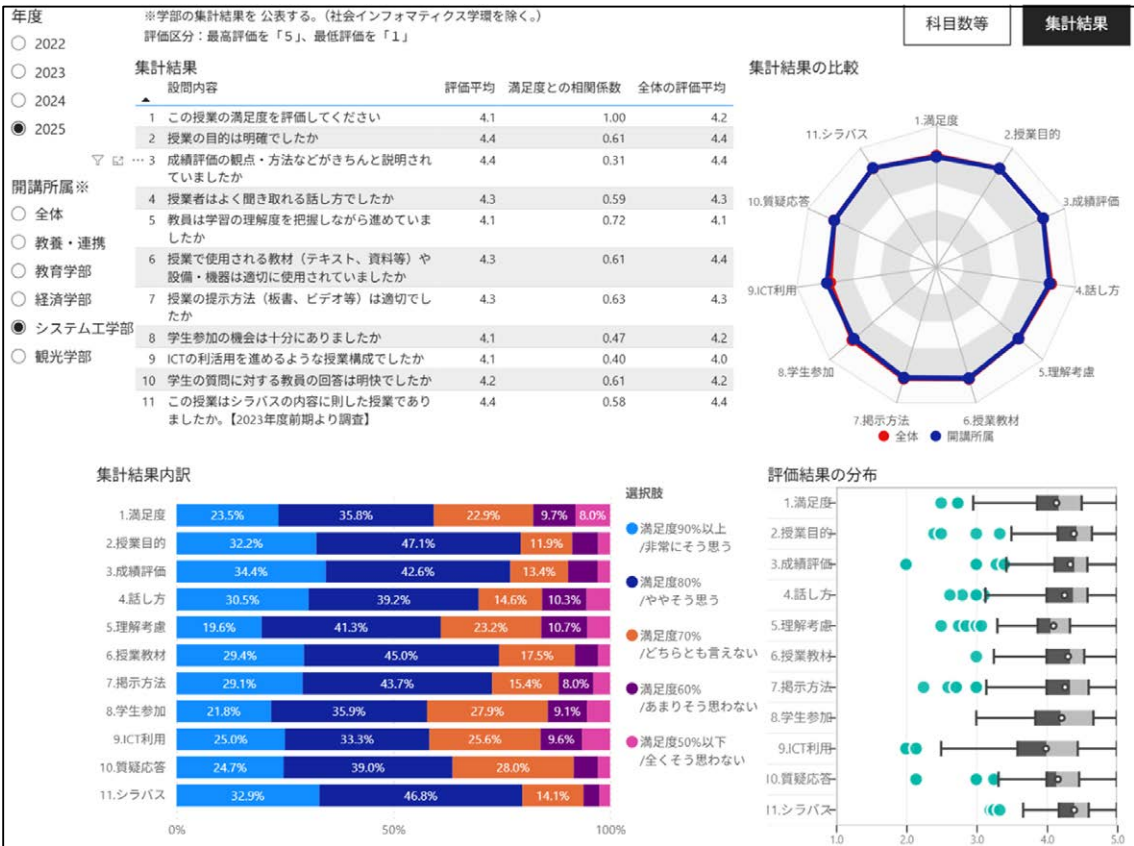
・教育学部



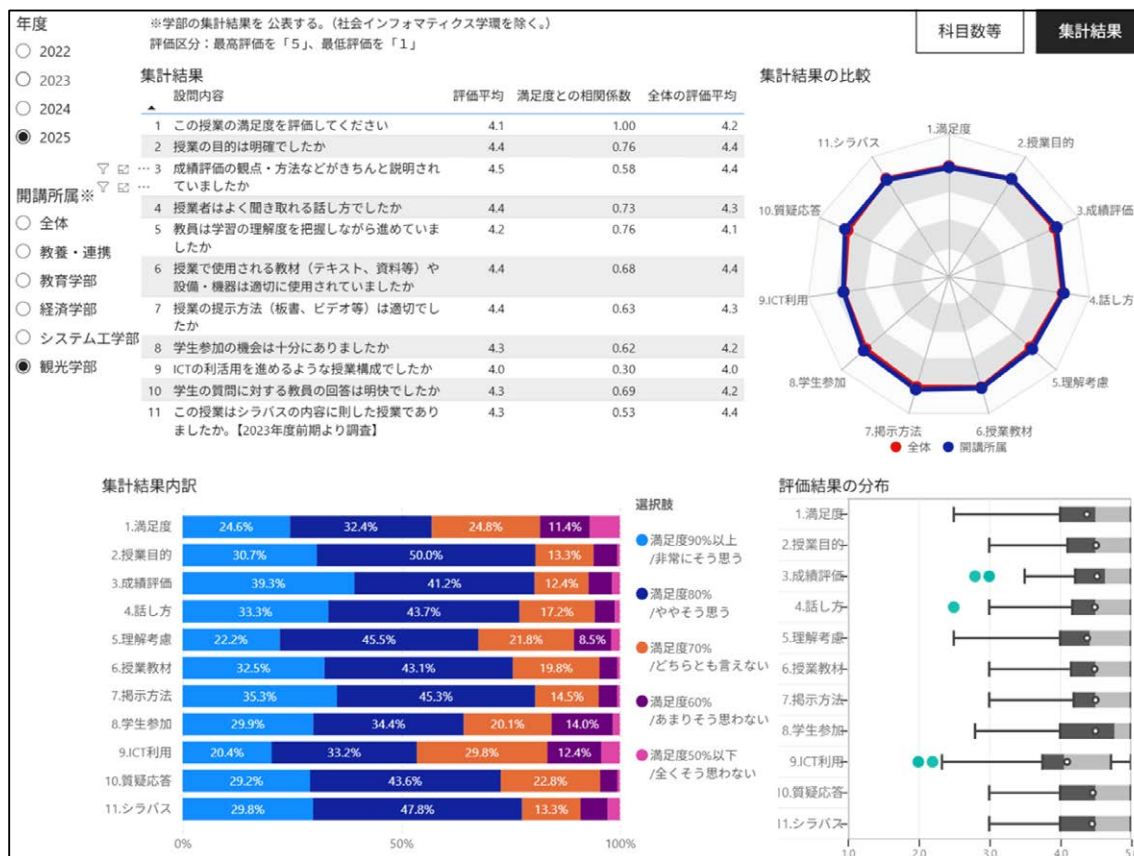
・経済学部



・システム工学部



・観光学部



※社会インフォマティクス学環については独自開講科目が少ないため、本項目は掲載していません。

3-3 学修時間

学生が、学位プログラムが期待する水準の資質・能力を身に付けるための一般的な前提条件を満たしているかを明らかにするため、学生が授業内及び授業外で取り組む学修の平均時間を以下に示します。

▶ 学修に費やした時間の平均値及び分布について

・各学期に実施されている授業評価アンケートより

「この授業に関する通常授業期間の学修時間(授業時間を除く、1週間あたりの平均)」について

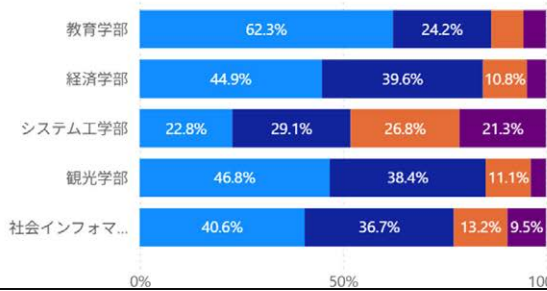
学生の学修時間（学士課程，修士・博士前期課程）

年度

2025

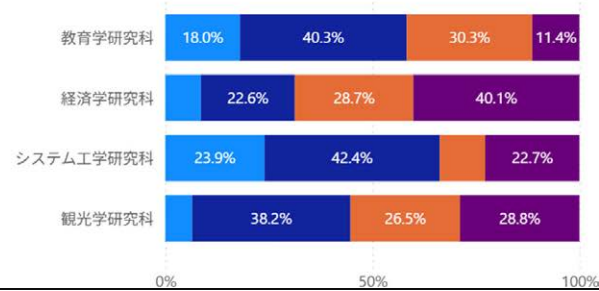
週平均学修時間（学部，1科目あたり）

● 1.5時間以下 ● 1.5～3時間 ● 3～4.5時間 ● 4.5時間以上



週平均学修時間（研究科，1科目あたり）

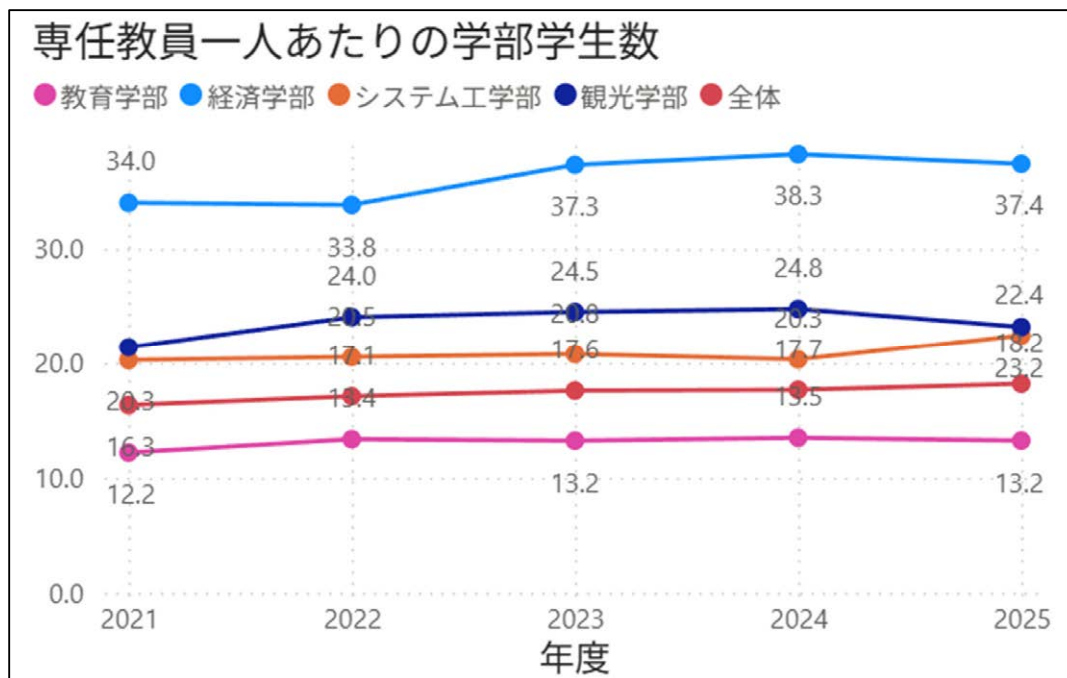
● 1.5時間以下 ● 1.5～3時間 ● 3～4.5時間 ● 4.5時間以上



・令和7年度前期・後期授業評価アンケート「授業に関する通常授業期間の学修時間について」より集計

3-4 教員一人あたりの学生数

学生数に対して十分な教員を確保することで、密度の濃い授業や丁寧な履修指導が可能な環境であることを明らかにするため、学生数に対して十分な教員を確保していることを以下に示します。



※各年5月1日時点。学年進行中の「社会インフォマティクス学環」は非公表とする。

4. 卒業時・卒業後の情報

4-1 学位の取得状況

学生が、個々の授業科目の履修の結果として、「卒業認定・学位授与の方針」に定める資質・能力を備えていることを明らかにするため、学生が取得した学位に関する情報を以下に示します。

▶ 学位の名称と授与者の数について

・年度ごとの学位取得者数（各年3月31日時点）

<学部>

設置区分					
学部・学環					
学位	2021	2022	2023	2024	2025
学士（教育学）	164	167	164	164	165
学士（経済学）	324	319	307	302	317
学士（工学）	327	312	296	318	292
学士（観光学）	128	105	135	129	125
合計	943	903	902	913	899

<修士・博士前期課程>

設置区分					
修士・博士前期課程					
学位	2021	2022	2023	2024	2025
教職修士（専門職）	24	18	19	22	21
修士（経済学）	36	38	36	30	34
修士（工学）	120	136	130	145	137
修士（観光学）	10	11	11	6	12
観光地域マネジメント修士（専門職）				10	7
合計	190	203	196	213	211

<博士後期課程>

設置区分					
博士後期課程					
学位	2021	2022	2023	2024	2025
博士（工学）	5	2	1	2	2
博士（観光学）	6	2	1	2	4
合計	11	4	2	4	6

4-2 学生の成長実感・満足度

学生が、「卒業認定・学位授与の方針」に定められたそれぞれの資質・能力をどの程度身に付けられているか等に関する学生の主観的な評価を明らかにするため、また、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の育成に関してどのような評価を受けているのかを明らかにするため、卒業・修了者を対象にアンケートを実施しています。令和4年度からは全学統一のアンケート項目とし、「卒業認定・学位授与の方針」に対しての認知度・達成度・感想等についてアンケートを実施しています。令和7年度卒業・修了者へのアンケート調査結果の概要は以下のとおりです。

<令和7年度卒業・修了時アンケート>

実施期間：令和8年1月～2月下旬

実施方法：和歌山大学 Moodle のアンケート機能にて実施

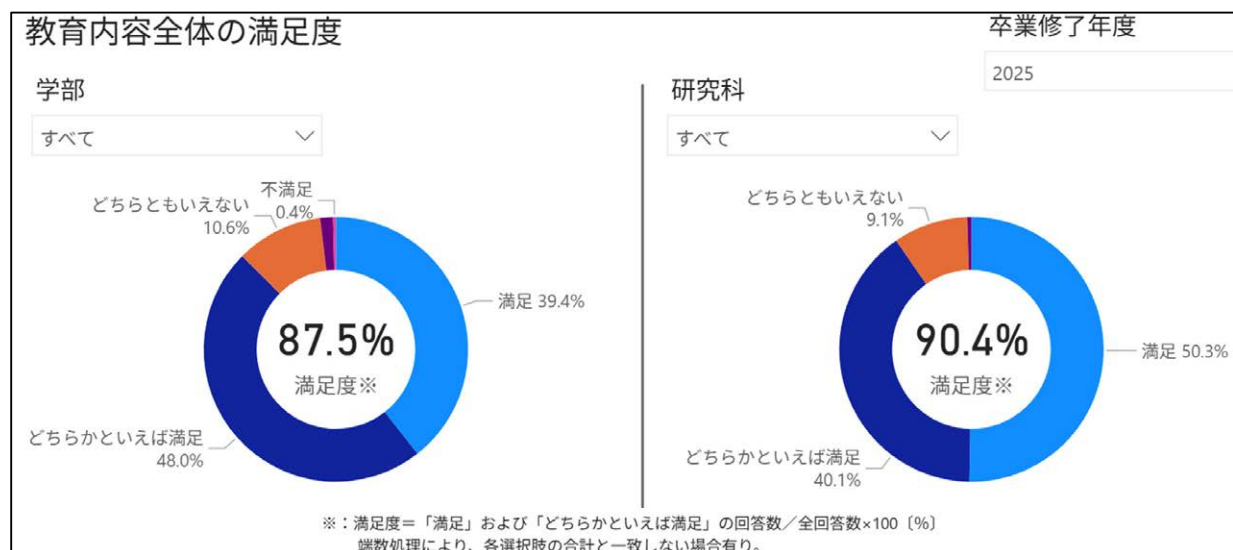
回答率：全体93.6%（卒業・修了者1,107名中1,036名回答）

教育学部	96.4%
経済学部	97.1%
システム工学部	90.3%
観光学部	89.3%
教育学研究科（教職開発専攻）	91.3%
経済学研究科	100%
システム工学研究科（博士前期課程）	91.2%
観光学研究科（博士前期課程）	100%
観光学研究科（専門職学位課程）	87.5%
システム工学研究科（博士後期課程）	100%
観光学研究科（博士後期課程）	100%

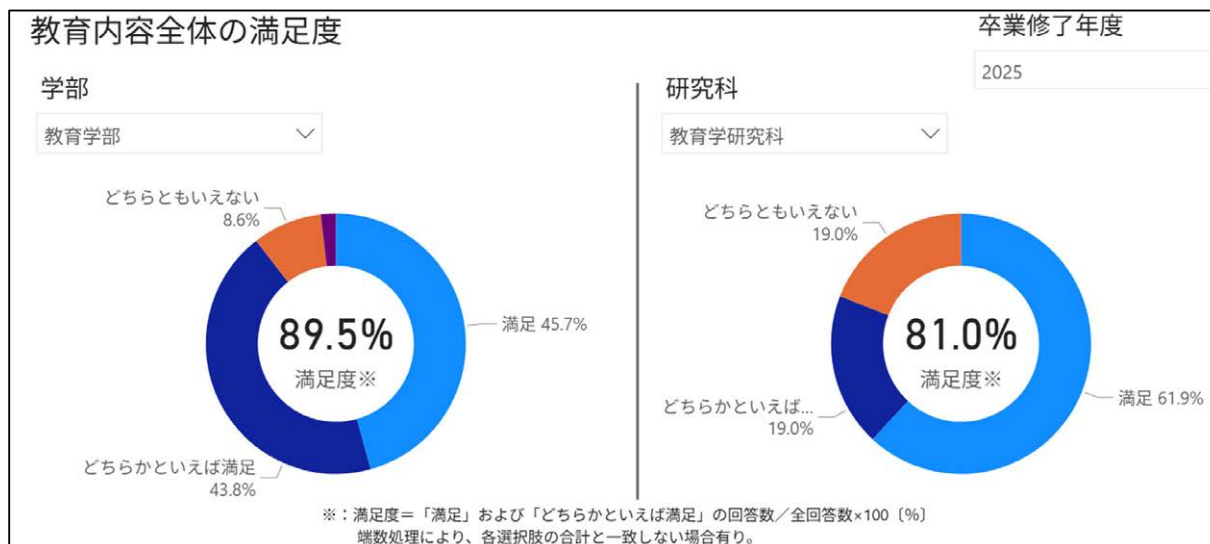
▶ 和歌山大学での教育内容全体の満足度について

※：満足度＝「満足」および「どちらかといえば満足」の回答数／全回答数×100〔%〕

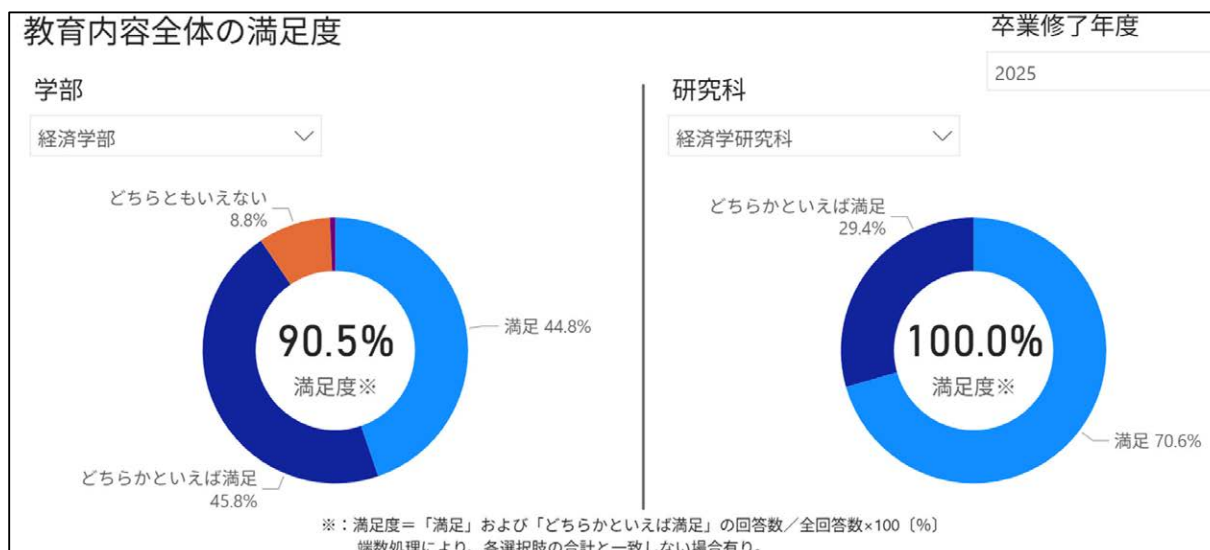
端数処理により、各選択肢の合計と一致しない場合有り。



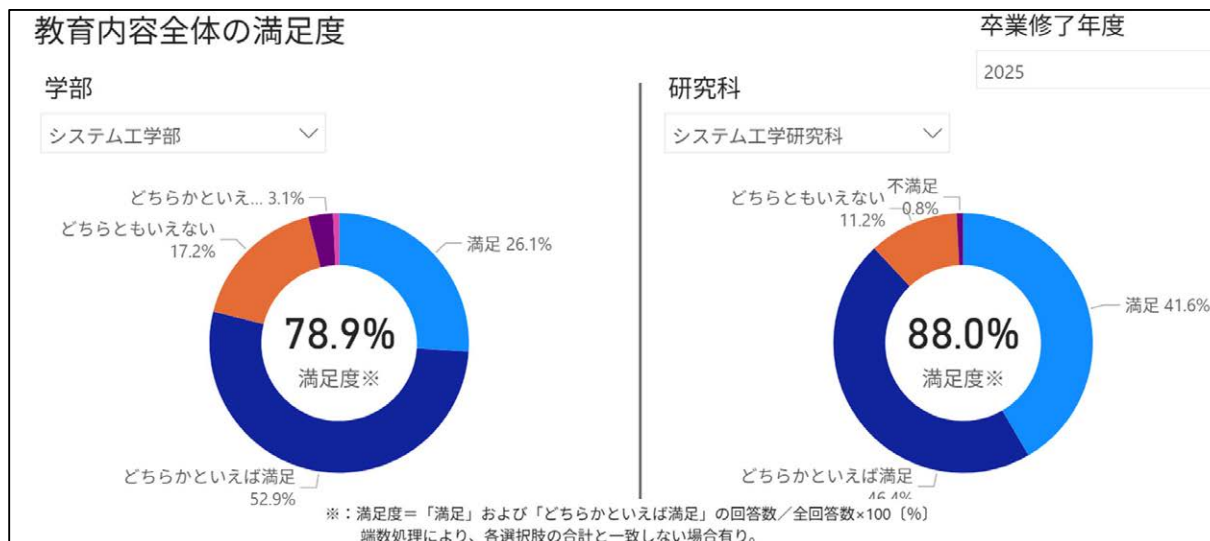
<教育学部・教育学研究科>



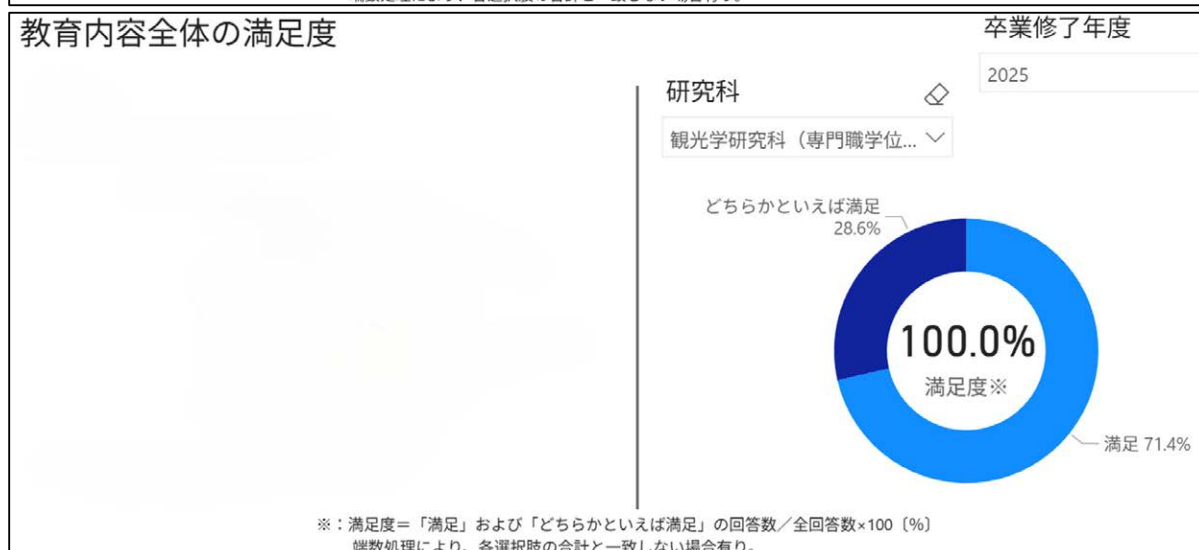
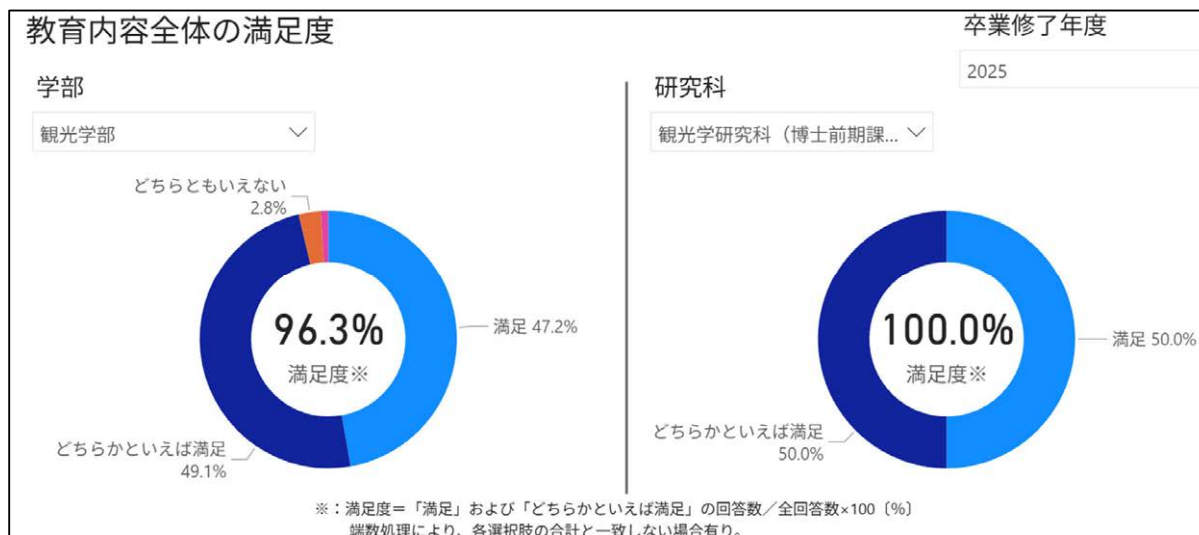
<経済学部・経済学研究科>



<システム工学部・システム工学研究科>



<観光学部・観光学研究科>



4-3 学位プログラムを通じた資質・能力等の修得状況

令和7年度卒業・修了生を対象としたアンケートで、学生が学位プログラムを通じて修得した資質・能力について質問を行いました。（調査の概要は項目4-2を参照）アンケート結果は以下のとおりです。

※：修得度＝「身についた」および「ある程度身についた」の回答数／全回答数×100〔%〕

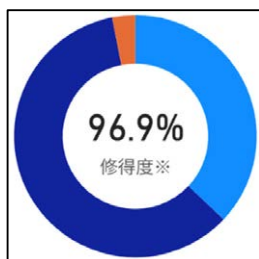
端数処理により、各選択肢の合計と一致しない場合有り。

●身についた ●ある程度身についた ●あまり身につかなかった ●身につかなかった

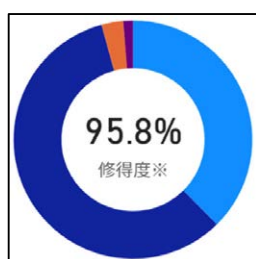
（学士課程）

①幅広い教養や倫理性

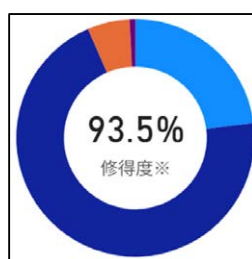
<教育学部>



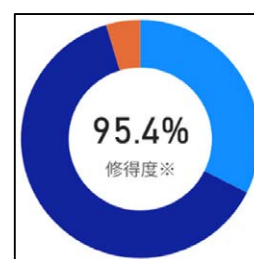
<経済学部>



<システム工学部>

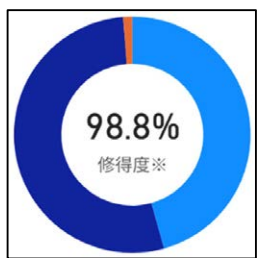


<観光学部>

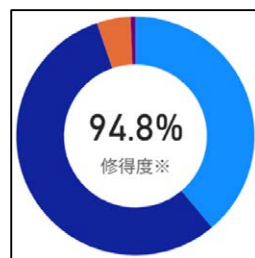


②知識や学力

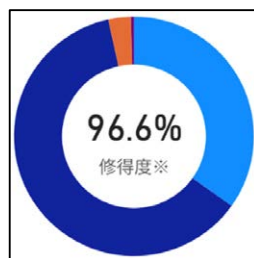
<教育学部>



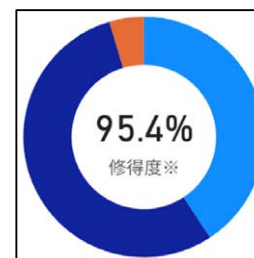
<経済学部>



<システム工学部>

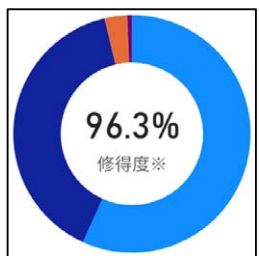


<観光学部>

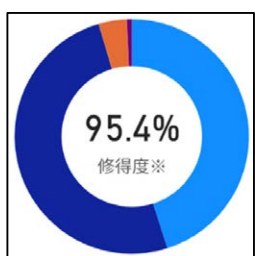


③主体性

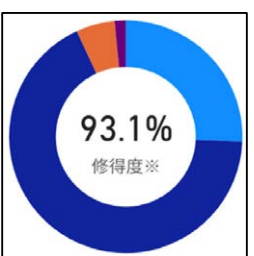
<教育学部>



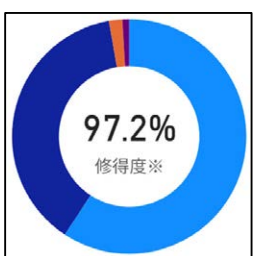
<経済学部>



<システム工学部>

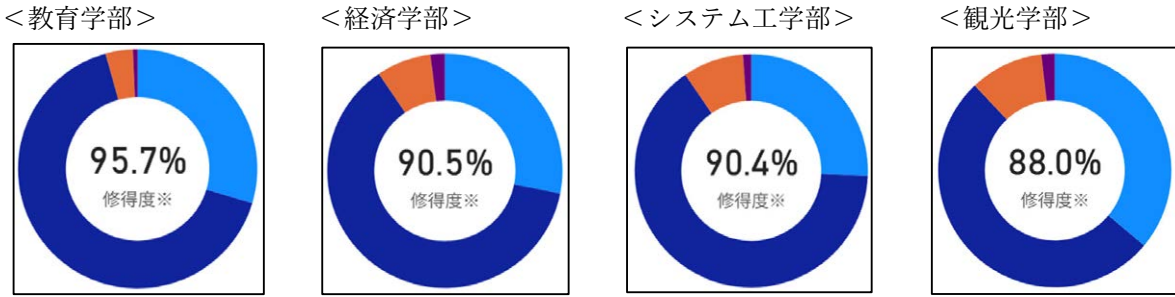


<観光学部>

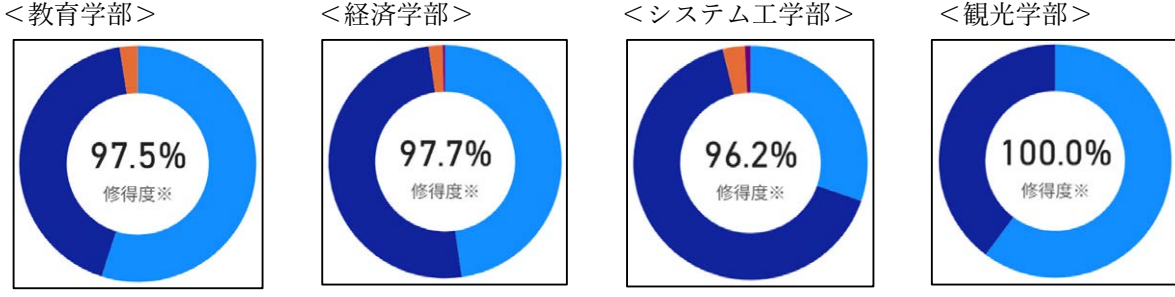


●身についた ●ある程度身についた ●あまり身につかなかった ●身につかなかった

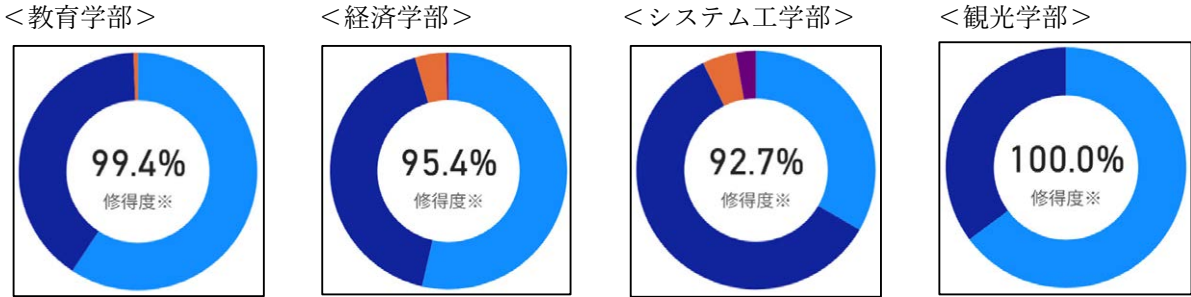
④創造力



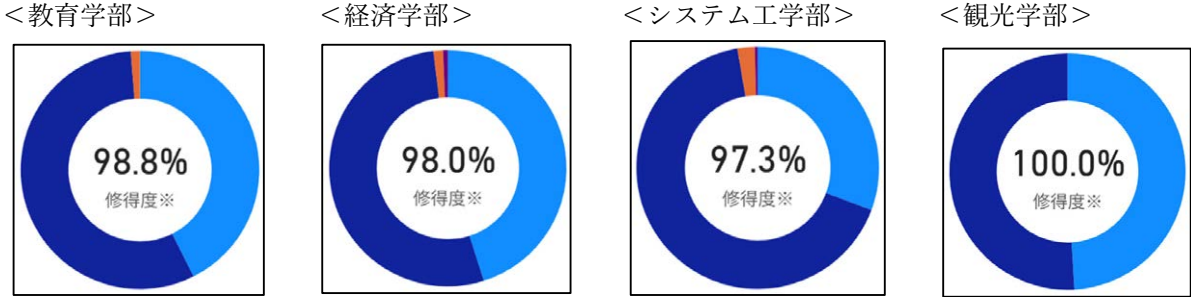
⑤実践力



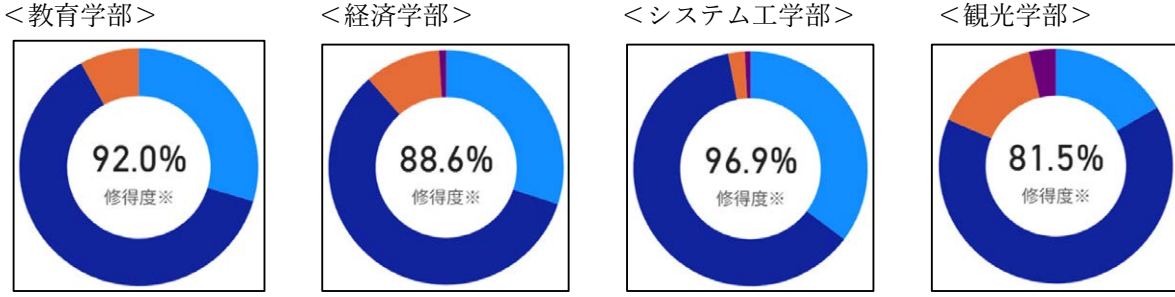
⑥コミュニケーション力



⑦多角的な思考力



⑧ICT 機器の活用能力や情報リテラシー



● 身についた ● ある程度身についた ● あまり身につかなかった ● 身につかなかった

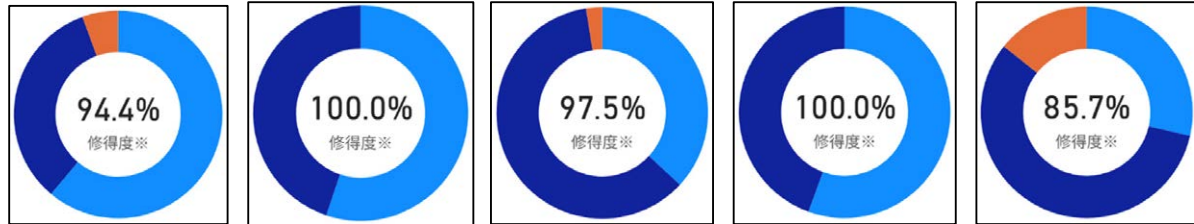
(修士・博士課程)

① 高度な専門知識を獲得し、それを深める力

<教育学研究科> <経済学研究科> <システム工学研究科> <観光学研究科>

(博士前期課程)

(専門職学位課程)

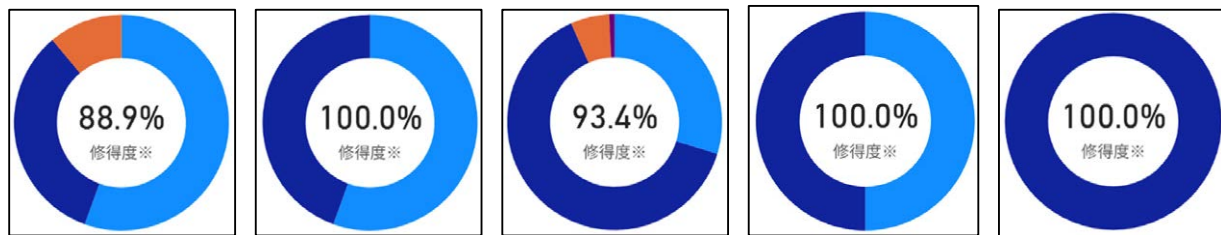


② 高い人権意識や倫理観

<教育学研究科> <経済学研究科> <システム工学研究科> <観光学研究科>

(博士前期課程)

(専門職学位課程)

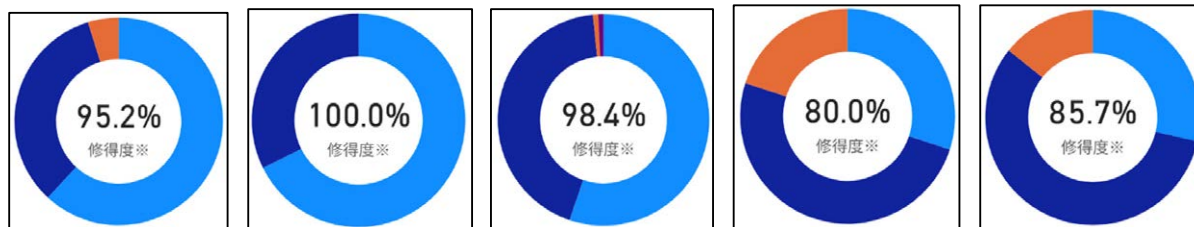


③ 課題解決能力

<教育学研究科> <経済学研究科> <システム工学研究科> <観光学研究科>

(博士前期課程)

(専門職学位課程)

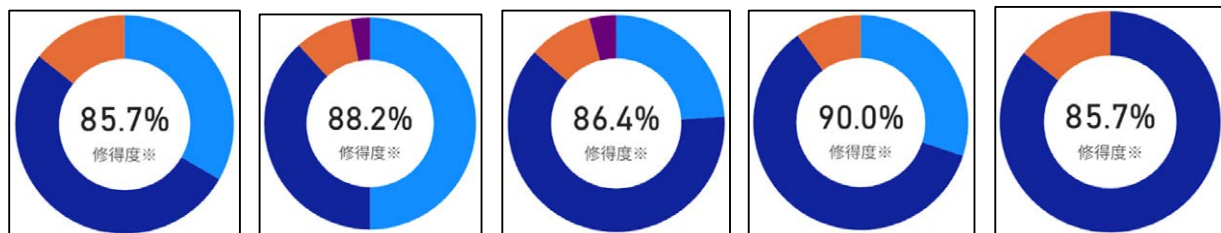


④ リーダーシップを発揮する力

<教育学研究科> <経済学研究科> <システム工学研究科> <観光学研究科>

(博士前期課程)

(専門職学位課程)

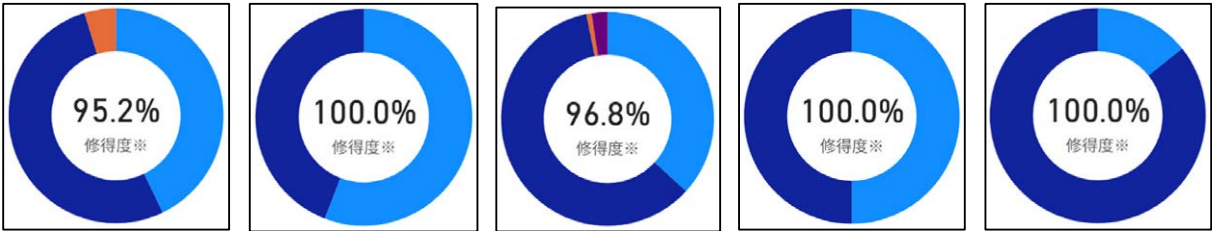


●身についた ●ある程度身についた ●あまり身につかなかった ●身につかなかった

⑤平易かつ論理的に表現し、発信する力

<教育学研究科> <経済学研究科> <システム工学研究科> <観光学研究科>

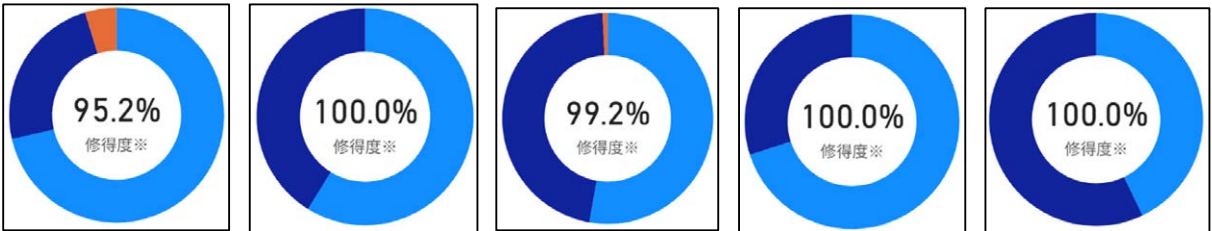
(博士前期課程) (専門職学位課程)



⑥分析し、改善・応用する力

<教育学研究科> <経済学研究科> <システム工学研究科> <観光学研究科>

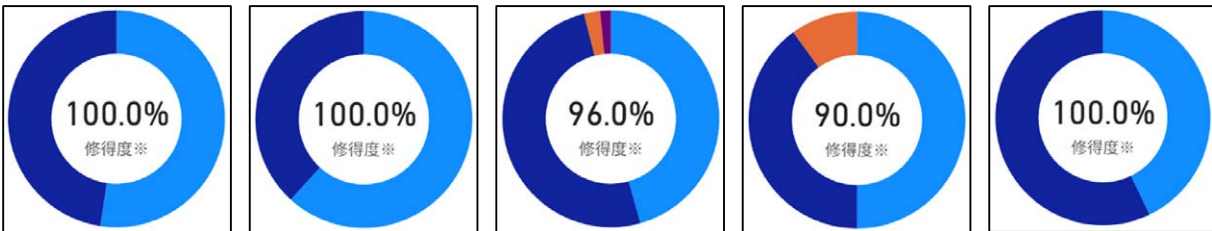
(博士前期課程) (専門職学位課程)



⑦コミュニケーション力

<教育学研究科> <経済学研究科> <システム工学研究科> <観光学研究科>

(博士前期課程) (専門職学位課程)



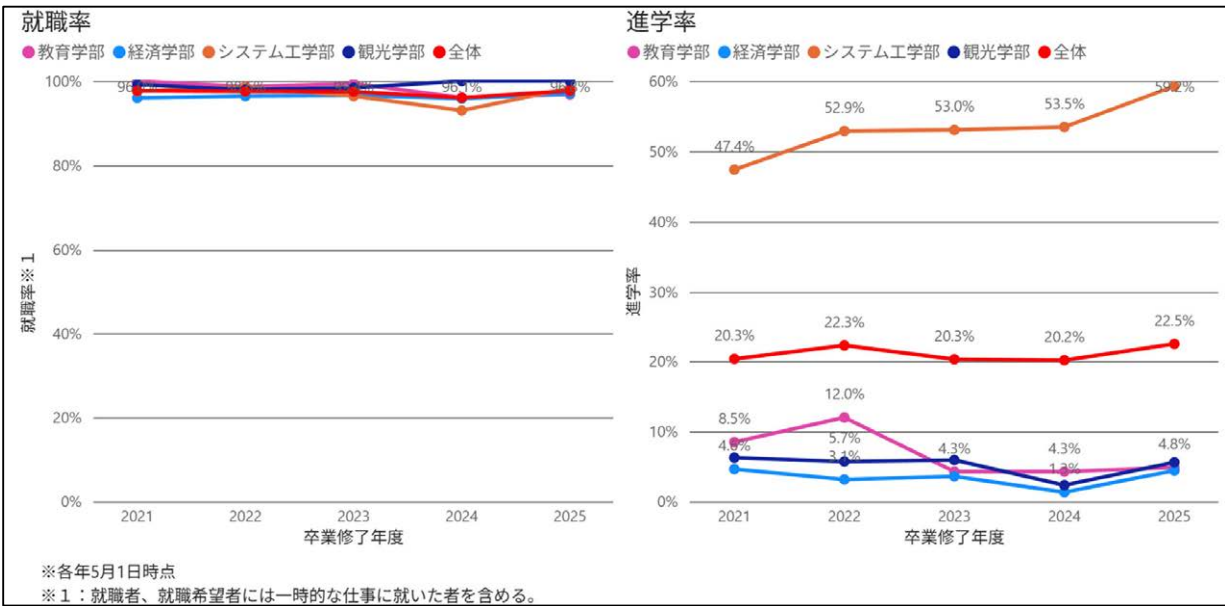
※博士後期課程はアンケート対象者数が少ないため、アンケート結果を掲載していません。

4-4 進路の決定状況等の卒業後の状況（就職率や進学率等）

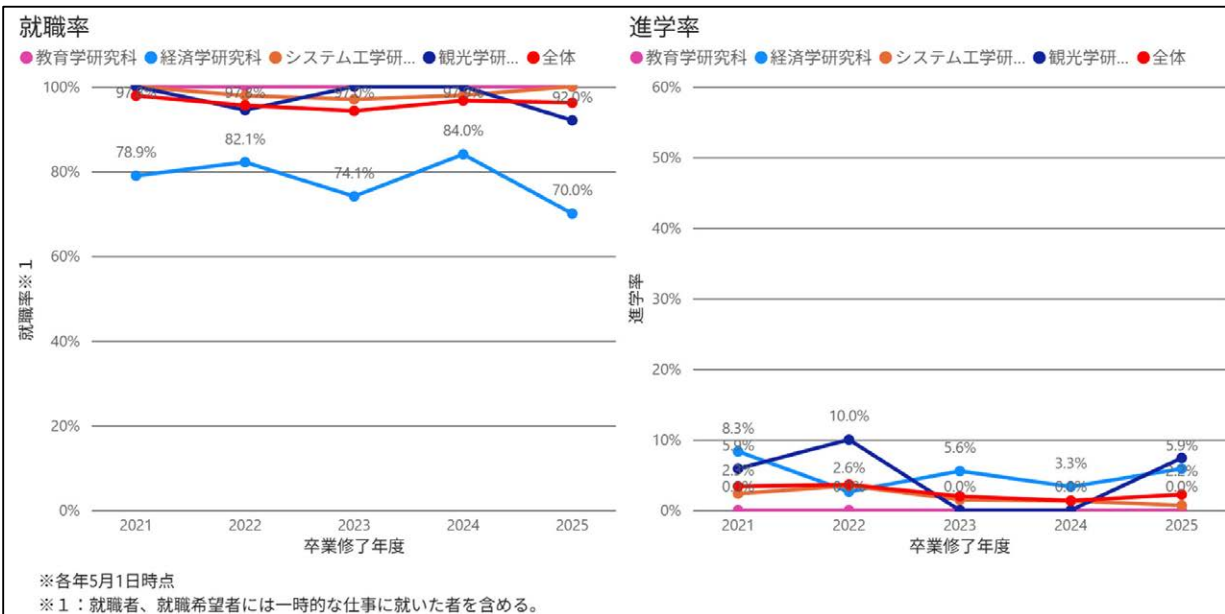
大学が、就職や進学等を希望する学生に対して進路を保証できているかを明らかにするため、卒業生・修了生就職率及び進学率を以下に示します。

▶ 卒業生・修了生の進路状況について

<学部>



<研究科>

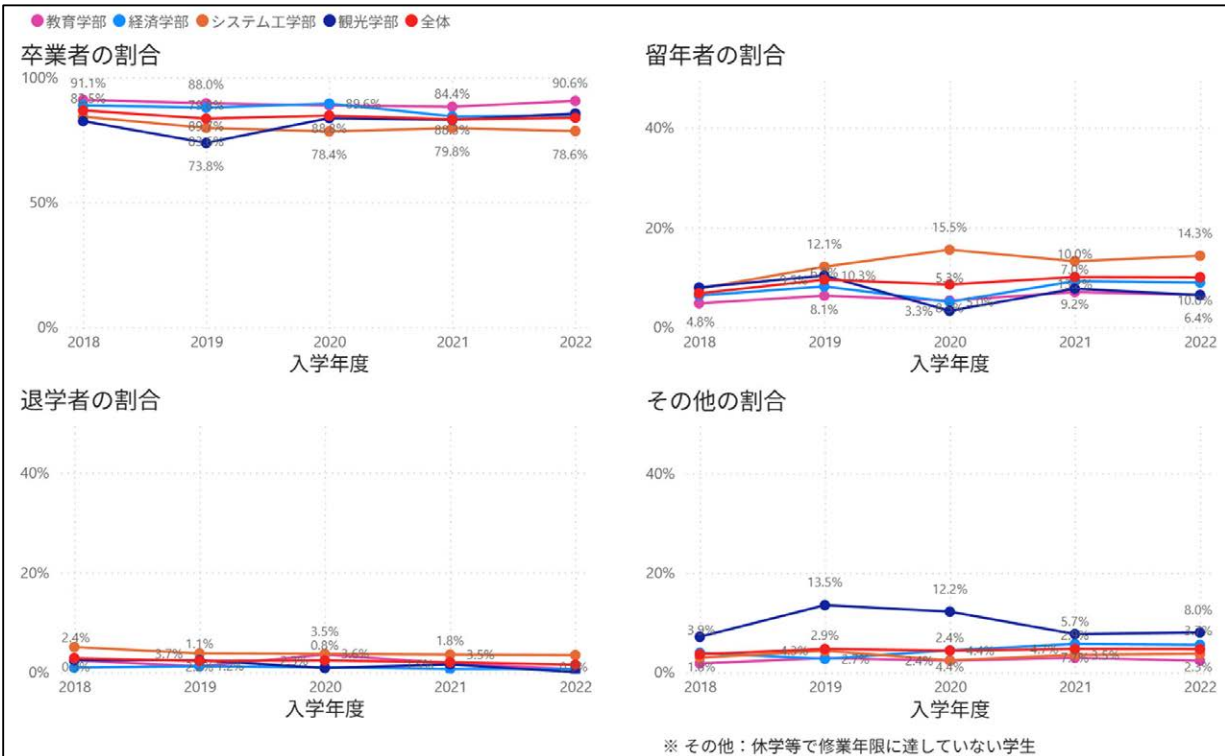


4-5 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年率、中途退学率

大学が、修業年限期間内において学生の資質・能力を計画的に伸ばし、学位の取得まで到達させていることを明らかにするため、修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年率、中途退学率を以下に示します。

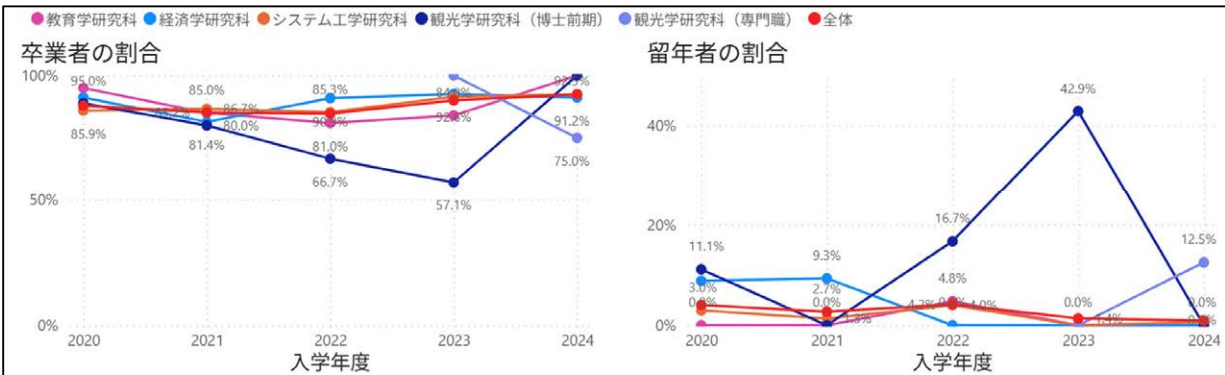
▶ 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年率、中途退学率

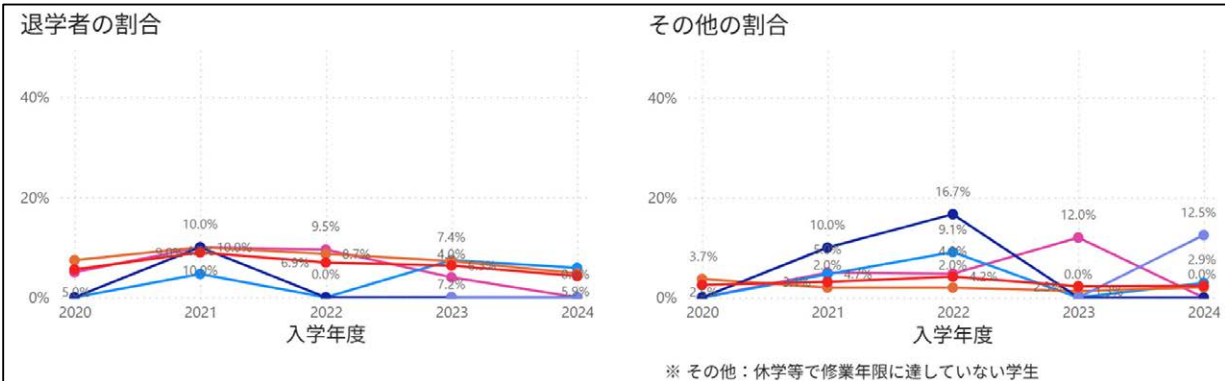
<学部>



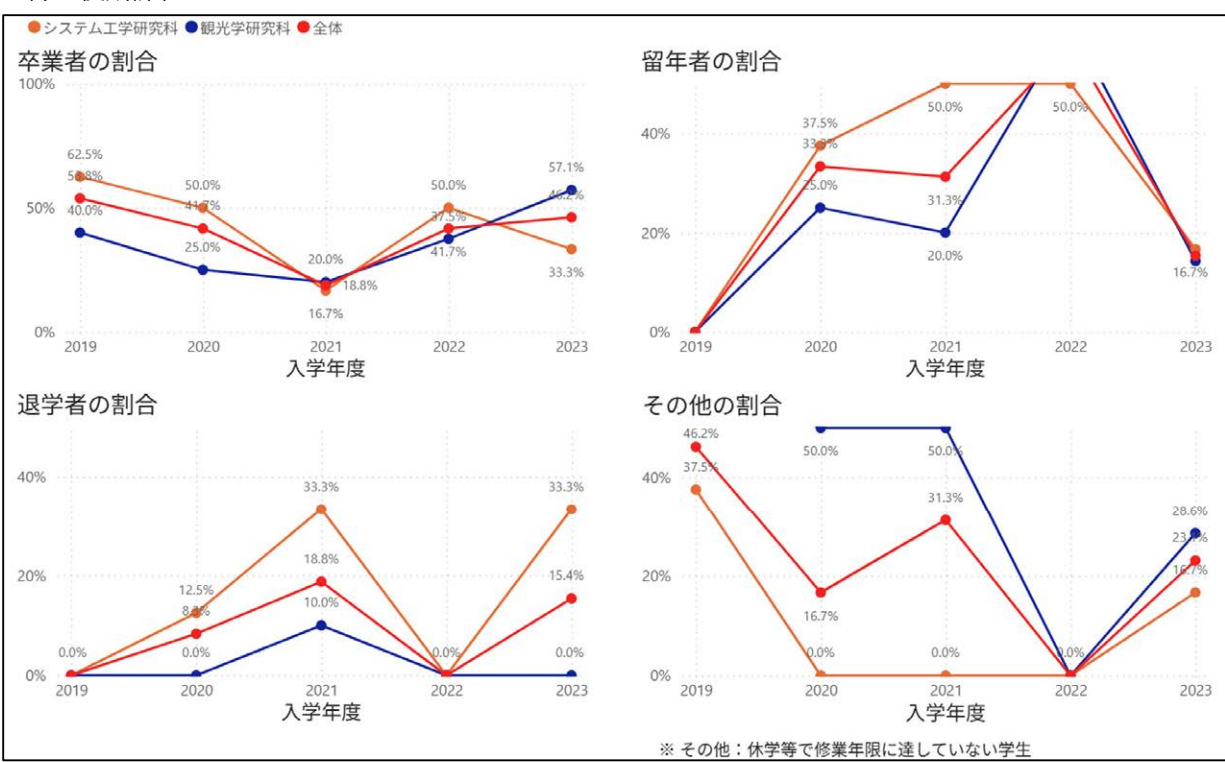
※卒業者、留年者、退学者等の割合には3年次編入者を含む。長期履修・短期履修・転学部は含まない。

<修士・博士前期課程>





< 博士後期課程 >



▶ 学位取得に要した年数ごとの修了者の割合について

※各年度末日（3月31日）時点

修了年度								
2025								
大学院課程	標準修業年限	1年	2年	3年	4年	5年	5年以上	
教育学研究科（専門職）	2年		76.2%	23.8%				
経済学研究科（修士）	2年		91.2%	2.9%		2.9%	2.9%	
システム工学研究科（博士前期）	2年		98.5%	1.5%				
観光学研究科（博士前期）	2年		66.7%	25.0%	8.3%			
観光学研究科（専門職）	2年		100.0%					
システム工学研究科（博士後期）	3年			50.0%	50.0%			
観光学研究科（博士後期）	3年			25.0%	25.0%		50.0%	

※休学および長期履修・短期履修を含む。

4-6 卒業生からの評価

学位プログラムを通じて身に付けた資質・能力が、進学先や就職先でどのように役立っているかを、進学・就職から一定期間経過した卒業・修了生からの評価により明らかにするため、アンケートを実施しています。令和7年度に実施したアンケートの概要については、以下のとおりです。

アンケート対象：令和3年度卒業生・修了生（卒業・修了から3年経過）

実施期間：令和8年1月1日～1月31日

実施方法：はがき郵送による案内、アンケートフォームによる回答

回答率：11.2%（卒業・修了者数からはがき未着数を除いた数を分母とした）

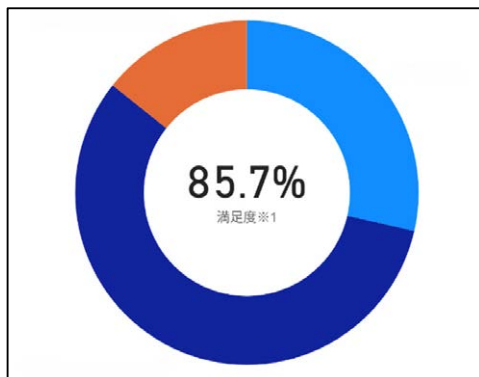
▶ 和歌山大学の教育内容全体に対する満足度について

※：満足度＝「満足」および「どちらかといえば満足」の回答数／全回答数×100〔%〕

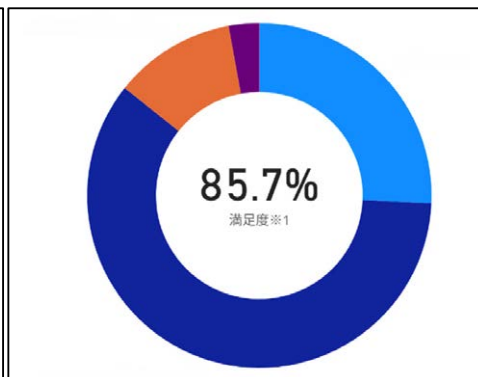
端数処理により、各選択肢の合計と一致しない場合有り。

●満足 ●どちらかといえば満足 ●どちらともいえない ●どちらかといえば不満足

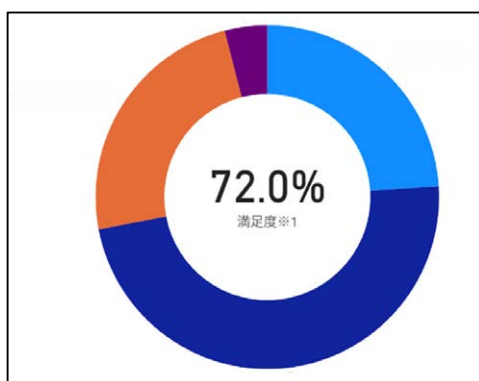
<教育学部>



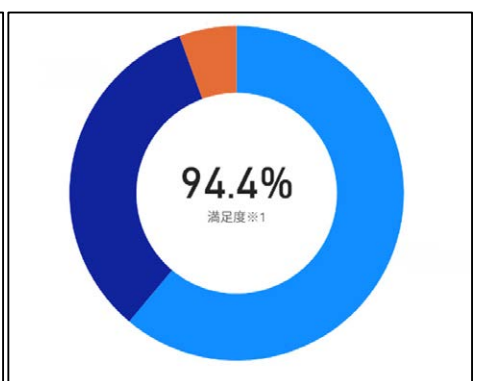
<経済学部>



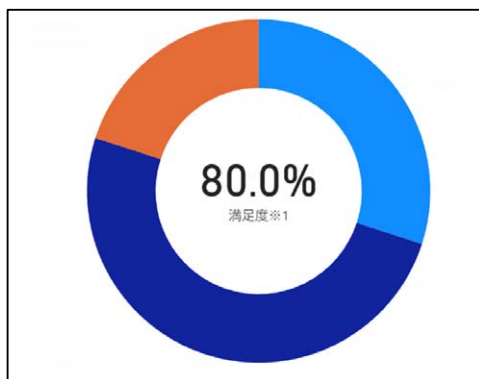
<システム工学部>



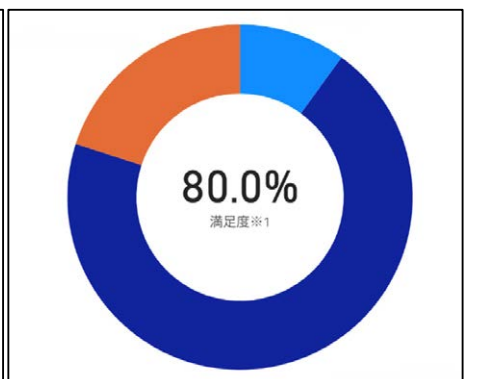
<観光学部>



<教育学研究科>



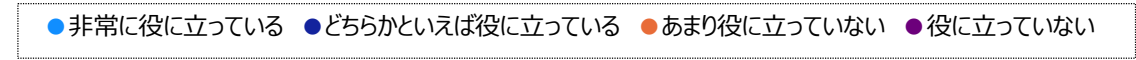
<システム工学研究科（博士前期課程）>



※経済学研究科および観光学研究科（博士前期課程）は回答者なしのため掲載していません。また、博士後期課程はアンケート対象者数が少ないため、アンケート結果を掲載していません。

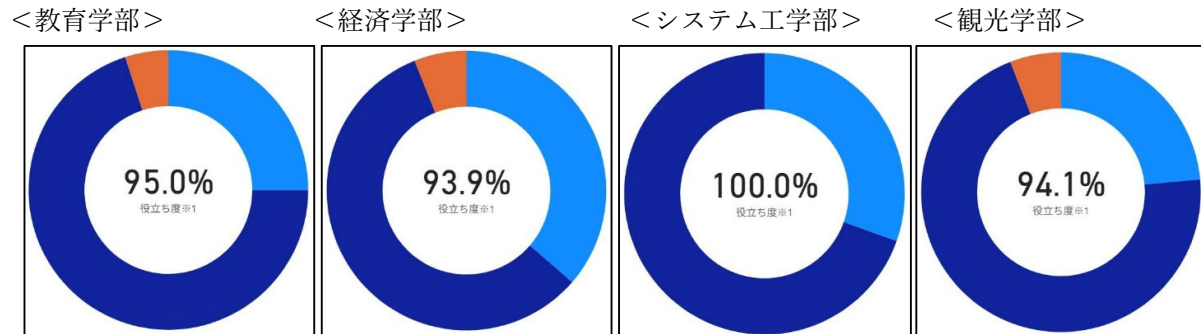
▶ 和歌山大学での学びを通して身についた①～⑦の資質や能力が、仕事や日常生活の中で役立っていますか。

※：役立ち度＝「非常に役に立っている」と「どちらかといえば役に立っている」の回答数／全回答数×100〔%〕
端数処理により、各選択肢の合計と一致しない場合有り。

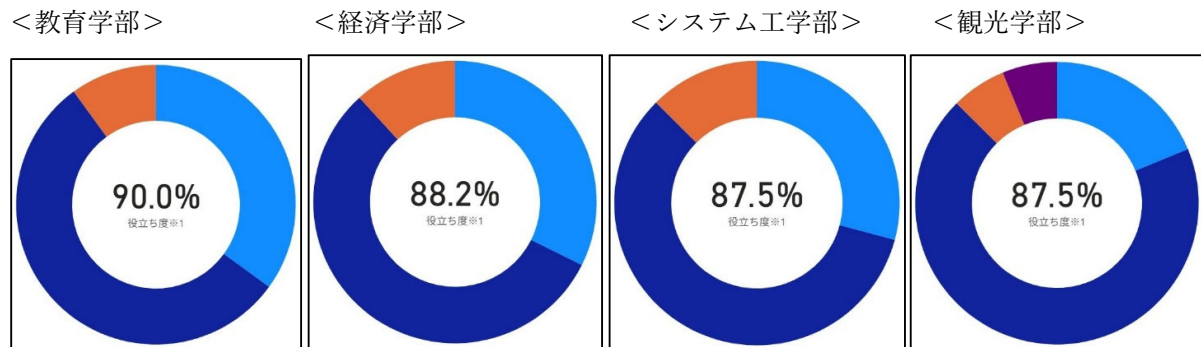


(学士課程)

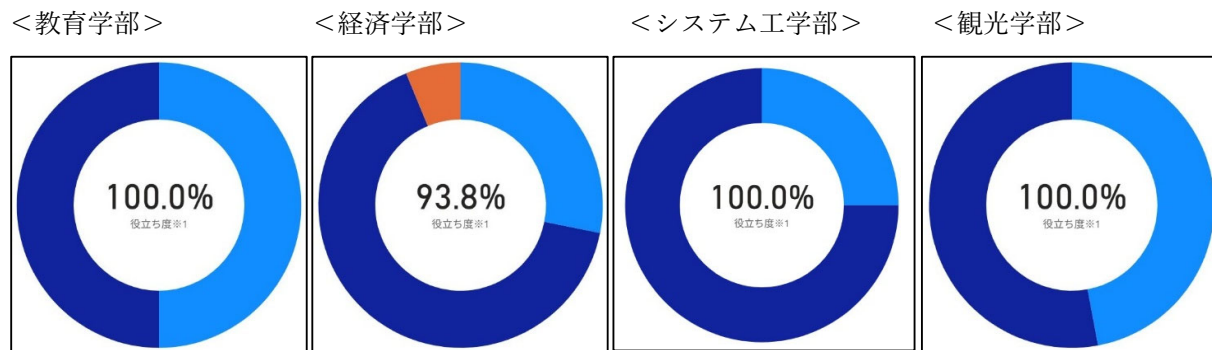
① 幅広い教養や倫理性



②知識や学力

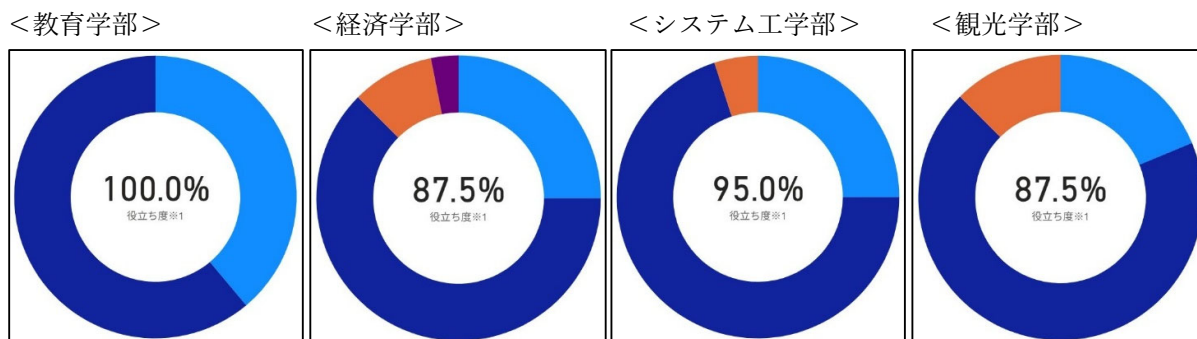


③主体性

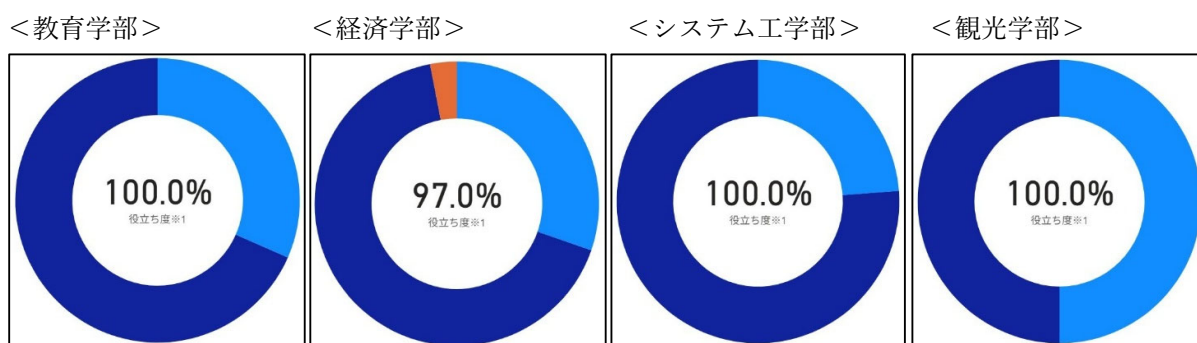


●非常に役に立っている ●どちらかといえば役に立っている ●あまり役に立っていない ●役に立っていない

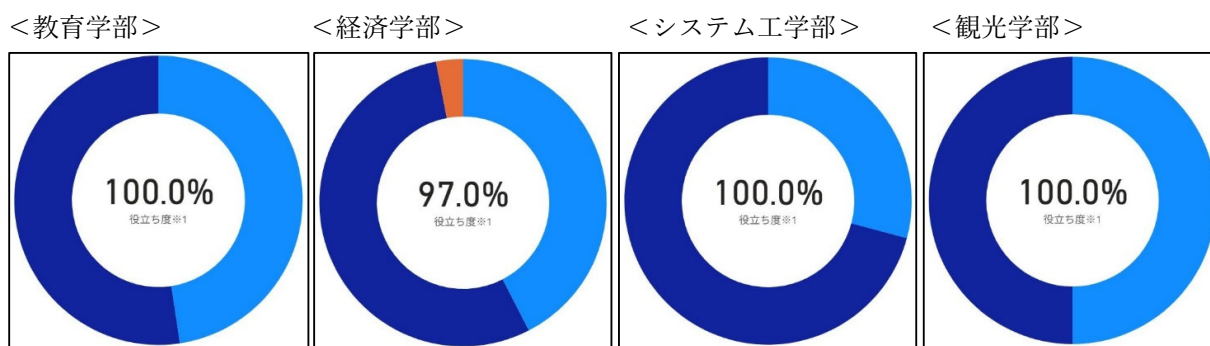
④創造力



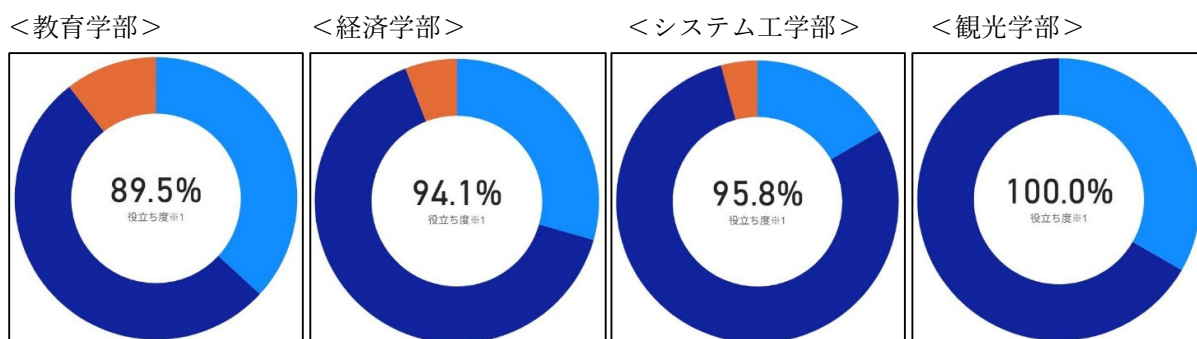
⑤実践力



⑥コミュニケーション力



⑦多角的な思考力



●非常に役に立っている ●どちらかといえば役に立っている ●あまり役に立っていない ●役に立っていない

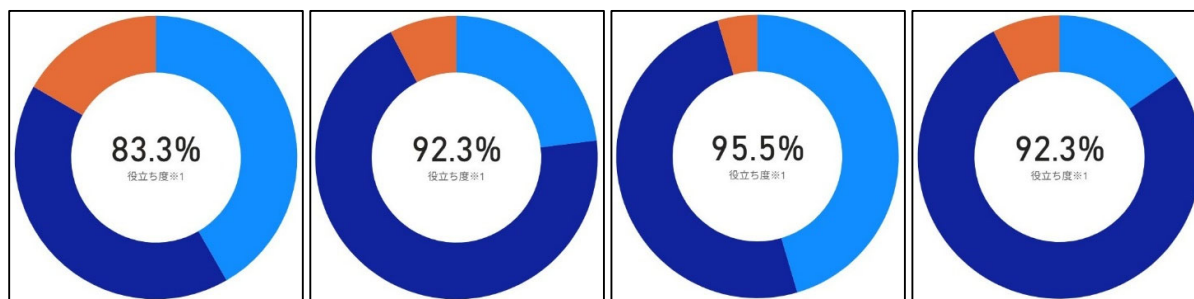
⑧ICT 機器の活用能力や情報リテラシー

<教育学部>

<経済学部>

<システム工学部>

<観光学部>

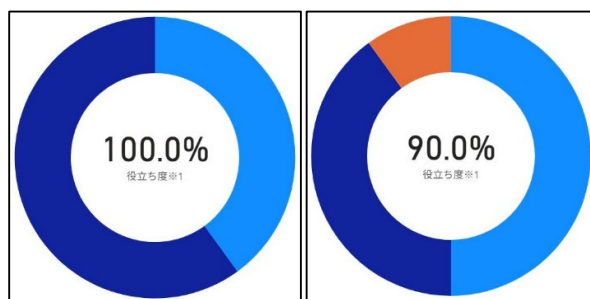


(修士・博士課程)

①高度な専門知識を獲得し、それを深める力

<教育学研究科>

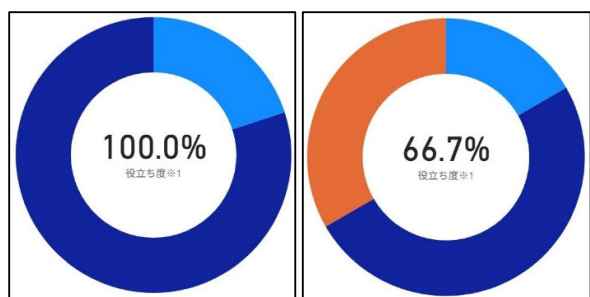
<システム工学研究科>



②高い人権意識や倫理観

<教育学研究科>

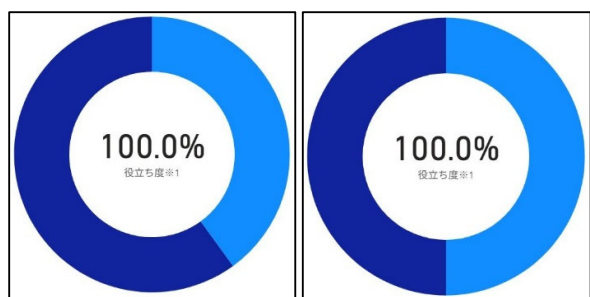
<システム工学研究科>



③課題解決能力

<教育学研究科>

<システム工学研究科>

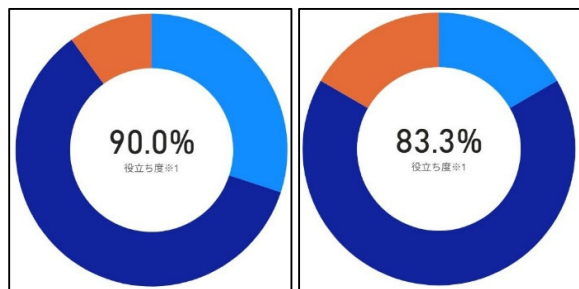


●非常に役に立っている ●どちらかといえば役に立っている ●あまり役に立っていない ●役に立っていない

④リーダーシップを発揮する力

<教育学研究科>

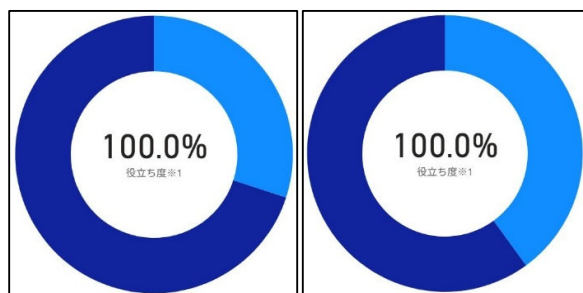
<システム工学研究科>



⑤平易かつ論理的に表現し、発信する力

<教育学研究科>

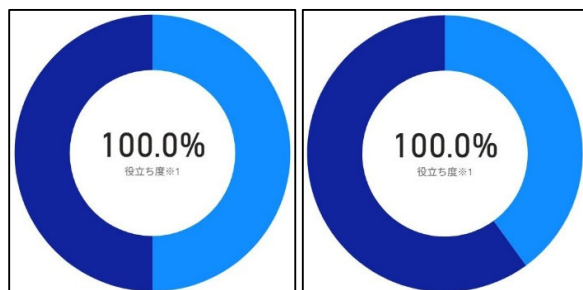
<システム工学研究科>



⑥分析し、改善・応用する力

<教育学研究科>

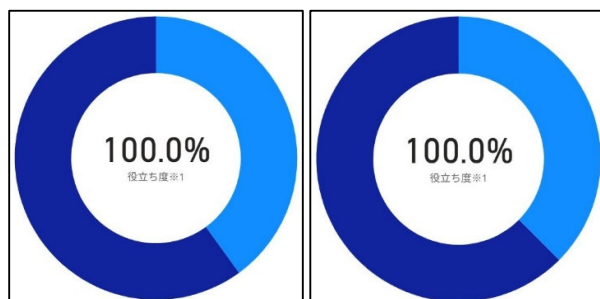
<システム工学研究科>



⑦コミュニケーション力

<教育学研究科>

<システム工学研究科>



※経済学研究科および観光学研究科（博士前期課程）は回答者なしのため掲載していません。また、博士後期課程はアンケート対象者数が少ないため、アンケート結果を掲載していません。

4-7 卒業生に対する評価

企業等に採用された本学卒業生が学位プログラムを通じて身に付けた資質・能力等について、合同企業説明会参加企業にアンケートを実施しています。令和7年度に実施したアンケートの概要については、以下のとおりです。

アンケート対象：2027卒向け和歌山大学合同企業説明会参加企業

実施期間：令和8年2月～3月

実施方法：Microsoft Formsのアンケート機能による実施

回答企業数：101社（うち、本学卒業・修了生が在籍している企業85.1%）

▶ 採用された和歌山大学卒業生が、次の資質や能力を身につけていると思いますか。

※：修得度＝「身につけている」と「ある程度身につけている」の回答数／全回答数×100〔%〕

端数処理により、各選択肢の合計と一致しない場合有り。

